

令和元年7月臨時教育委員会会議

1. 日 時

令和元年7月25日（木）午前10時00分～午後4時30分

2. 場 所

河内長野市役所別館 組合会議室

3. 出席委員

松本教育長、澤田教育長職務代理者、嘉名委員、藤本委員、尾上委員

4. 会議録署名委員

松本教育長、澤田教育長職務代理者、藤本委員

5. 事務局出席者

(1) 事務局

宮阪教育推進部長、小川生涯学習部長、中田教育推進部理事、安田教育推進部理事、井上生涯学習部理事、藤林教育総務課長、生田教育指導課長、小池教育指導課主幹、森口教育指導課主幹、小関教育指導課主幹、川畑教育指導課主幹、小林教育指導課主幹、墨村教育指導課主幹、前教育指導課主幹、武本教育総務課課長補佐、帯屋教育総務課庶務係長

(2) その他

河内長野市立小学校教科用図書選定委員会

河内長野市立中学校教科用図書選定委員会

小松選定委員長、清水選定委員、森本選定委員、坂田選定委員、木村選定委員

6. 会議要録

開 会

松本教育長

それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、令和元年7月臨時

教育委員会会議を開会いたします。

(1) 署名委員の指名

松本教育長

今回の会議録の署名は、私のほかに澤田教育長職務代理者と藤本委員にお願いします。

澤田教育長職務代理者、藤本委員

了解しました。

(2) 議事（要旨）

松本教育長

それでは、令和2年度使用小中学校使用教科用図書採択を始めます。

議案第3号「令和2年度使用小中学校教科用図書採択及び学校教育法附則第9条に規定する一般図書の給付について」であります。

なお、本件の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条6項に基づきまして、教科書等の取扱いの権限が教育委員会に有することを確認しておきたいと思えます。

それでは議案書の方ですが、はじめに事務局より説明があります。

生田教育指導課長

それでは、議案書及び議案説明資料の1ページをご覧ください。

議案第3号「令和2年度小中学校使用教科用図書採択 及び 学校教育法附則第9条に規定する一般図書の給付について」説明いたします。

本件につきましては、審議いただく事柄を分けますと大きく3つに分かれますので、審議いただく順番を次のようにしていただけたらと思えます。

1つ目は、令和2年度において河内長野市立小中学校に設置されている特別支援学級に在籍する児童生徒に給付する教科用図書についてです。2つ目は、令和2年度中学校で使用する教科用図書の採択について、そして、

3つめ目は、令和2年度小学校で使用する教科用図書の採択についてです。よろしくをお願いします。

松本教育長

ただ今、事務局より審議の順番について提案がございましたが、提案どおりでよろしいでしょうか。

(委員より異議なし)

松本教育長

承認いただけましたので、まず1つ目の、市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒に給付する教科用図書について審議いたしたいと思います。

まず、事務局から説明願います。

生田教育指導課長

令和2年度において河内長野市立小中学校に設置されている特別支援学級に在籍している児童・生徒に対しては、従来どおり、拡大教科書を除き、学校教育法附則第9条に規定する一般図書の給付は行わず、当該学年用の検定教科書を給付する。

この件に関しまして、説明いたします。別冊の議案第3号関係として配布しております「令和2年度使用教科用図書採択資料」をご覧くださいませすでしょうか。

その1ページをご覧ください。(資料2)の学校教育法附則第9条にございますように、特別支援学級に在籍する子どもたちに、検定教科書以外の一般図書を採択することは可能です。

しかし、検定教科書と附則第9条によって採択した一般図書の両方は給付できませんので、採択権のある市教育委員会はどちらか一方を採択することになります。

検定教科書に代わる附則第9条本を採択する場合は、一般図書が特別支援学級に在籍する個々の子どもの教育指導計画に沿った教科用図書とし

て適切かどうか慎重に判断しなければなりません。

また、「みんなと同じ教科書を給付して欲しい」という保護者の願いもごございますので、教育委員会からは、検定教科書を配布した上で、学校に割り当てられている図書購入の予算を活用して、子ども達に有用な一般図書を購入する方法をとっております。これまでも、各学校において、このような形で対応してまいりました。

したがいまして、学校教育法附則第9条の規定による一般図書の給付は行わず、当該学年用の検定教科書を給付することが妥当であると考えています。以上につきまして、ご審議お願いいたします。

松本教育長

この件につきまして質問はありませんか。

ないようでしたら、1つ目の審議については議案どおりということよろしいでしょうか。

(委員より異議なし)

松本教育長

承認いただけましたので、次に、令和2年度中学校で使用する教科用図書の採択について、事務局より説明願います。

生田教育指導課長

令和2年度に中学校で使用する教科用図書についてですが、まず、事務局より説明いたしますので、ご確認いただきたいと思います。

令和2年度に中学校で使用する教科用図書は、昨年採択した「特別の教科 道徳」を除いて、使用開始以来4年を迎えることとなり、本年度が新たに採択する年度となっております。しかしながら、令和3年度から新学習指導要領の全面実施に伴って、新たな教科用図書が使用される予定となっていることから、令和2年度使用教科用図書の採択替えのための新たな図書の検定申請が文部科学省になされませんでした。このため、令和2年

度に使用する教科用図書は、平成28年度に調査した教科用図書の中から採択することとなります。このことを踏まえ、選定委員会を開催し、平成28年度の答申資料を活用し調査を行いましたので、後ほど選定委員長より報告いたします。

なお、令和2年度に中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書については、資料の3ページの（資料5）に示しております平成30年度に採択し、本年度より使用している教科用図書と同一のものを採択することとなります。

では、選定委員長より、令和2年度に中学校で使用する「特別の教科 道徳」を除く教科用図書に関しての報告をいたします。報告の後ご審議をお願いいたします。

小松選定委員長

中学校教科用図書選定委員会にて、現在使用している教科書について、平成28年度に作成された答申資料をもとに、調査を行いました。また、本市立図書館および教科書センターにて展示を実施いたしました。その結果、現在使用している教科用図書について大きな不都合や異論はございませんでした。また、来年度には、令和3年度使用中学校教科用図書の採択年度となっております。

以上のことから、令和2年度中学校で使用する「特別の教科 道徳」を除く教科用図書に関しましては、令和元年度と同一の教科用図書を使用することがよいと結論に達したものでございます。以上報告いたします。

松本教育長

何かこの件につきまして質問はありませんか。

ないようでしたら、2つ目の審議についても議案どおりということよろしいでしょうか。

（委員より異議なし）

松本教育長

承認いただけましたので、では、3つ目の令和2年度に使用する小学校教科用図書の採択について、審議にはいります。まず、事務局から説明願います。

生田教育指導課長

それでは審議に入ります前に、本教育委員会が河内長野市立小学校教科用図書選定委員会に諮問した答申が、すでに令和元年7月19日をもって選定委員長より教育長に手渡されましたことをご報告させていただきます。

教育委員の皆様のお手元には、教育長を通じて、すでに答申および答申資料を配布させていただいております。

また、本答申は、令和2年度使用教科用図書選定の観点に基づき「目標に関すること」「内容に関すること」「組織・配列に関すること」「学習と指導に対する配慮および創意工夫に関すること」「体裁に関すること」の5つの観点で、調査委員会がその特長的な部分を整理し、選定委員からは、それらをもとに答申としてまとめていただいたものでございます。

ご審議よろしくお願いたします。

松本教育長

それでは、あらためまして、選定委員長をはじめ選定委員会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回の小学校教科用図書の採択は、ご存じのとおり、新学習指導要領に基づいて著作・編集されたものです。その新学習指導要領は、「知識・技能」とともに、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力・人間性」などを育成するために、今までは、学習する内容「何を学ぶのか」に加えて、学習の仕方「どのように学ぶのか」、つまり、アクティブラーニングと言われている「主体的・対話的で深い学び」の授業展開にも言及されています。

そのため、これまでの教科用図書とは、趣が違うようになっていると思

います。まず、そのことを念頭に置いていただければと思います。

また、選定委員から答申の報告をもらいますが、これらのことを参考にさせていただき、河内長野市の子どもたちに、最も適していると思われるものを、選んでいただきたいと思います。

なお、教育委員の皆様には、自宅に教科書を持ち帰り調べていただいたことをもとに、本日の報告説明を受けて、ご質問やお考えをご発言いただき、その中で、当初のお考えも変わられるかと思しますので、ある程度のご発言をいただきました後、種目ごとに発行者を一つに絞っていただきたいと思います。それを、別紙の投票用紙に、ご記入いただき、数の多い発行者の教科用図書を採択することといたします。

それでは審議に入ります。

松本教育長

それでは、外国語の審議を行います。選定委員から外国語について報告してください。

小松選定委員長

外国語科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【開隆堂】【学図】【三省堂】【教出】【光村】【啓林】の7者となります。

項目Aの(1)について【開隆堂】では5年81ページから105ページには「文字に慣れよう」があり、各単元で「読む・書く」の活動ができるようになっています。

項目Aの(2)について【東書】では、中学校への学習につなげるという観点から「Picture dictionary」という辞書が別冊で付いています。

項目Bの(4)について【東書】5年80ページでは、パラリンピックの選手だけでなく盲目のピアニストも取り上げ人権尊重について配慮がされています。【光村】5年102ページには、ユニバーサルデザインの視点を活かした町づくりについて配慮がされています。

項目Cの(2)について【教出】5年16、17ページでは、現在の5、

6年学習教材「We can」と単元構成が似ているだけでなく、ページ下にフォニックスを掲載している点は、同じく「We can」と類似した構成となっております。

項目Cの(3)について【啓林】5年53ページでは、単元の最初にゴールを示すだけでなく、各パートにもめあてが記載されています。

項目Cの(4)について【学図】6年23ページでは、他教科で得た知識を活かせる学習がレッスンごとに数か所記載されております。

項目Dの(1)について【開隆堂】6年39ページのようなチャレンジコーナーや6年102ページからのような「中学校へつなげよう」という発展的な学習を取り上げています。【三省堂】5年60、61ページでは、世界の時差について取り上げ、巻末のワークシートを使って発展的な学習ができるように工夫されています。

項目Dの(3)について【東書】5年24、25ページに異文化に関心を持たせられる工夫があります。また【学図】5年54ページコラムでも異文化に関心を持てるよう工夫がされています。【光村】6年46ページでは、「Fun time」でビンゴゲームなど児童にとって興味がわくような教材が掲載されています。

項目Dの(4)について【開隆堂】5年33ページ「Project」では、これまで学習して身に付けた外国語を活用する活動が設定されています。

【三省堂】6年4、5ページでは、単元構成を「Hop Step Jump」とし最後には相手を意識した表現力が身に付くように工夫されています。【教出】6年61ページのように、「Final Activity」を各単元末に設け、表現力等を育めるよう工夫されています。

項目Dの(5)について【開隆堂】5年1、2ページは、Can-Do リストだけでなく、Can-Do マップで確認でき1年間のめあてを見られることで学習の見通しが持て、また、1年後に何ができるようになったのかを自分で確認することができます。

項目Eの(2)について【開隆堂】巻末カードは、厚めに作られており児童が取り扱いやすいよう工夫されています。同じく【啓林】巻末カードは、カードの枚数が約200枚あり、すべてのユニットに対応しているので、すべての児童がゲームなどを通して外国語を楽しめるように配慮され

ています。

以上、7者の教科用図書についての報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

どなたからでも、結構ですので、どうぞよろしくお願いします。

澤田教育長職務代理者

いよいよ来年度から教科化される外国語ですが、新学習指導要領では、「話すこと・聞くこと」に加えて「書くこと」「読むこと」が追加されました。これは、小中の接続を踏まえた大きな動きです。「書くこと」と「読むこと」について、特長をしっかりと見ていかなければならないと思いますが、みなさんどうですか。

藤本委員

その点に関しては、【開隆堂】5年2、3ページは、「書くこと」「読むこと」に関して特長が出ていますね。小学生にとっては、アルファベットを書くことは簡単ではないのですね。この教科書の、各単元の横にある水色に囲まれたところを見てもらえますか。ここには「書くこと」「読むこと」の「めあて」が單元ごとにわかりやすく表示されています。子どもが見通しを持って学習に取り組めるように工夫されていると思います。

もう1つ、5年81ページからの「文字に慣れよう」も見てください。ここでは、「聞くこと」をうまく取り入れながら「書く力」「読む力」につながる工夫がされています。これなら、先程澤田委員がおっしゃられた、「書くこと」や「読むこと」にも抵抗なく取り組むことができると思います。

澤田教育長職務代理者

このように工夫していれば、教科化として始める1年目であっても、教える側の先生方にとって安心して指導ができるようになりますね。

尾上委員

わたしは、【東書】「Picture dictionary」が別冊で付いているのがいいと思います。

松本教育長

たしかにこれはいいですね。本市の教育方針の一つの施策として、小中一貫教育の推進があります。中学校では辞書を使うことも多くなりますので、小学校でこの「Picture dictionary」を使って学習することは、辞書を使う習慣が身に付いて、中学生になってからの学習にもきっと活かされると思います。表紙を開けると右のページに「中学生や高校生になっても」という言葉が入っているのもいいと思います。

嘉名委員

その点では、【東書】の6年79ページを見てください。ここではJICAの活動にもふれています。本市はJICAとの交流にさかんに取り組んでいますよね。外国語の授業でもJICAについて学ぶことで、教科横断的な視点でもいいのではないかと思います。

澤田教育長職務代理者

JICAの活動でいうなら、人権的な視点は欠かせません。人権尊重に関する配慮は各者なされておりますが、【光村】の5年の102ページを見てください。ここではユニバーサルデザインの視点をあえて取り入れています。すべての人にやさしい町であるために、自分たちの町をもう一度見つめなおすきっかけになります。

松本教育長

では、本市の課題である活用力や表現力、また、発展的な学習の工夫などの点についてどうでしょうか。

藤本委員

【開隆堂】の6年102ページから見てください。先程も触れましたが「文

字に慣れよう」だけではなく、「中学へつなげよう」があります。小学校でこのような発展的な学習は、子どもの活用力や表現力を伸ばすのにつながっていくと思います。

嘉名委員

それは、澤田委員がおっしゃられた「小中の接続」も意識できますね。このようにまとめていると、中学1年生の最初の授業でどんな展開をしていけばよいのか、小学校と中学校の先生の連携も図りやすそうですね。

松本教育長

それでは、児童の興味・関心を高めるということに関しては、何か特長はありますか。選定委員の方どうぞ。

小松選定委員長

その点では【東書】です。5年26、27ページを見てください。イラストをふんだんに使って児童の関心・意欲を高める工夫があります。その他のページでもイラストや写真の配置のバランスはとても良いです。また5年40、41ページのように領域ごとの設問の数が豊富です。自分の知識や技能を活かして学習を進めていけるような教科書に感じます。

澤田教育長職務代理者

【東書】を見ると、たくさんの情報量があり良さが分かります。ところで、反対に少ない情報量でも工夫されているものがあれば比較しやすいのですけれども

尾上委員

情報量の工夫という点では【教出】を見ていただけますか。6年61ページでは、問いかけが簡潔に示されています。それと、51ページでは児童の興味や関心をひくようなイラストが掲載されています。友だちや先生と一緒に作り上げていく授業ができそうに思います。

嘉名委員

私は、この点に関しては【開隆堂】6年33ページに特長が見られると思います。この「Project 1」のように楽しい活動を通して英語に対する興味や関心を抱いた後に、75ページにある「Project 2」で高度な活動が展開されています。

小学校1年生から外国語教育を受けている河内長野市の子どもたちにとっては、このような情報量や設問の内容が良いと思います。また、68ページ69ページも見てください。単元導入ページでの英単語量、活動量に関して河内長野市の子どもたちにとって適切な量と感じます。

澤田教育長職務代理者

比べてみると各者の特長がよくわかりますね。河内長野市の子どもたちにとってということが大切ですね。

松本教育長

外国語の評価に関してはどうですか。

藤本委員

評価に関して、【開隆堂】では、6年表紙裏1ページ2ページを見てください。わたしは外国語教育に関しては、子どもたちが「何を身に付けたのか」を感じられる「振り返り」がとても大切だと考えています。ここには、各単元の振り返りをまとめた「Can-Do マップ」が掲載されています。さらに、112ページを見てください。「学んだことリスト」でも自分の知識の習得も確認することができます。

実際、河内長野市のすべての中学校ではCan-Do リストを作成し実施していると聞いています。この自分の力を把握することはとても大切です。

嘉名委員

小学校の外国語の学習を通して、中学生以降も学び続けていく力を身に付ける。「何が身に付いて、何ができるのか」という、効果的な「振り返り」を活かしていくことがとても大切になると思います。

松本教育長

他にご意見はございませんか。それでは、英語について採択いたします。
本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします
(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)
(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、英語は【開隆堂】が多数となりました。ご異論はございませんか。
(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、図工の審議を行います。小松選定委員から図工について報告してください。

小松選定委員長

図工科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【開隆堂】【日文】の2者となります。

項目Bの(1)について、【開隆堂】は、5・6年下48ページのように、「伝統の技を学ぶ」において、伝統技術を継承されている方から指導を受け、制作する様子が写真で複数紹介され、地域の方の思いを受け継ぐことができるような内容となっております。【日文】は、3・4年下56ページのように、「ざいりょうを見つけよう」を設け、地域で手に入る材料を用いながら都道府県の特徴が紹介されており、原材料から制作される工芸品を紹介しながら地域をより感じられる工夫が見られます。

項目Bの(3)について、【日文】は、3・4年下58ページのように、「きをつけよう」を通して注意事項が示され、彫刻刀を使用する教材では、児童が見たとおりの角度と方向で大きな写真を掲載するなど、事故防止に留意する資料が発達段階に応じたものになっています。

項目Cの(3)について、【開隆堂】は、5・6年下の2ページから4

ページにあります中表紙の見開きのように、単元ごとの全作品例が写真とともに紹介されており、年間の見通しを持って学習を効果的に進められるような工夫が見られます。【日文】は、5・6年下の2ページから4ページにあります中表紙の見開きのように、「教科書美術館」が設定され、発達段階に応じた作品や現代アート等が紹介され、年度初めの学習において興味関心を持って進められる工夫が見られます。

項目Dの(1)について、【開隆堂】は、1・2年下18ページのように、資料を補うQRコードが設定され、それを活用すると、制作した作品がどのように動くのかが動画で紹介されるなど、完成までの見通しを持つことができるなど、視覚的な個に応じた配慮が見られます。

項目Dの(3)について、【日文】は、5・6年上34ページのように、「ひらめきポケット」を設け、『つなげる』『分ける』といった言葉について、身の回りの具体物で実際にやってみるとどうなるのか、様々な写真を使いながら紹介され、図画工作への興味が高まる工夫が見られました。また、5・6上40ページのように、「消してかく」という教材を設定し、マイナスの絵画の観点を取り入れ、消すことで作品を生み出すという楽しさが感じられる内容となり、創作意欲が高まる工夫がみられます。

項目Dの(4)については、どちらにも特徴が見られました。

【開隆堂】は、3・4年下57ページのように、「話し合いのしかた」を設け、意見を大切にしながら話し合い、学習を進める内容が取り扱われ、表現力が育まれるような活動が設定されています。

【日文】は、5・6年上16ページのように、作品をもとにグループになって、見比べたり、気になることを伝え合う様子が写真で掲載され、児童の思いをふき出しで掲載しながら、理由やポイントを伝え合えるような工夫が見られます。

以上2者の教科用図書についての調査結果報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

ご意見、ご質問はございませんか。

尾上委員

どちらの教科書も、中表紙は、わくわくした気持ちで学習をスタートできそうなつくりになっていると思います。

澤田教育長職務代理者

子どもに興味を持たせるというのなら、【開隆堂】の5・6年下の2ページから4ページにあります中表紙を見てください。1年間にどんな作品を制作するのかが写真で示されているので、子どもにとっても見通しが持てます。学習の見通しを持つことは、意欲を持続させるためにも、非常に重要です。指導者にとっても、計画を立てる上で役に立つと思います。

藤本委員

【日文】の5・6年下の2ページから4ページも見てもらえますか。こちらは芸術作品を複数載せているので、美術に関心が向くと思いますね。どちらの教科書もインパクトのある内容で、ひきつける工夫がされているのではないのでしょうか。

松本教育長

他にご意見はありませんか。

尾上委員

選定委員の報告にある[E体裁]の(1)ですが、【日文】の特長として挙げられている、「白抜き文字」は、こういったところで見やすいのですか。やはり、美術的な視点があるのでしょうか。

松本教育長

選定委員の方、お願いします。

小松選定委員長

例えば、【日文】の3・4年下8ページをご覧ください。黒板をイメー

ジして、めあてを強調しているのがわかると思います。黒い背景に白抜きで文字を表示することで、明度が増え見やすくなるようです。目にとまりやすい工夫としては、美術的な要素もありますが、ユニバーサルデザインの要素もあります。

尾上委員

だれにとっても学びやすいユニバーサルデザインの観点は、重要視されなくてはならないと思います。

藤本委員

ユニバーサルデザインで言うと、先ほどの選定委員の報告でありました観点Bの(3)で児童のアンクルにすることが事故防止とありますが、どういふことでしょうか。少し詳しく教えていただけませんか。

松本教育長

選定委員の方、お願いします。

小松選定委員長

まずは、【開隆堂】3・4年下54ページをご覧ください。彫刻刀を使う場合、持ち手でないもう片方の手も、刀に添えて彫り進めます。しかし、子どもたちは彫る箇所に集中してしまい、ついつい刀の進む方向に、添え手をもっていつてしまうことがあります。そうすると、万が一、刀がすべってしまった時に、添え手にあたり、指を傷つけるような事故が起こることになります。その点においては【開隆堂】も、注意されています。

ここで、【日文】の3・4年下58ページをご覧ください。

初めの写真が児童の視点に立った写真となっています。つまり手前から奥に彫り進める写真になっているのです。

藤本委員

【日文】のように、手前から奥にまっすぐと、添え手を手前にして彫り進める写真だと、指導する時に大変わかりやすく、役立つと思います。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

嘉名委員

【日文】の「分ける」の写真がいいと思いました。5・6年上34ページを見てもらえますか。図工の新しい一面を見ているようですね。「つなげる」という教材もありますよね。

松本教育長

選定委員どうですか。

小松選定委員長

【日文】3・4年上の34ページを開けてください。「つなげる」というテーマにおいても、身の回りにある具体物がどのようにつながっているのかを考えることができるような工夫が見られます。

尾上委員

どれもどこかで見たことのある「つなげる」写真ですね。身の回りにある物がつながると、いろいろな形に見えるという、子どもの発想を広げる活動ですね。私の子どもに比べると、ずっと想像力が広がる教科書になっていますね。

嘉名委員

「分ける」や「つなげる」から想像を広げる。図工という芸術的な教科では、創造する力も育んでいきたいです。そういった意味では、【日文】の「消してかく」というのが、非常に興味深いのですが、5・6年上40ページを見てもらえますか。マイナスの絵画の観点を詳しく聞かせてください。

松本教育長

選定委員、少し説明していただけますか。

小松選定委員長

図工は描いたり、作ったりしてどんどん形作られていくものです。この活動は黒く塗ったものを、塗るとは逆の「消す」作業をすることで形作られていきます。これはまさに逆転の発想であり、創造力を育むとてもおもしろい教材と考えます。

嘉名委員

子どもたちがわくわくしながら、手や消しゴムを真っ黒にして、無心で創作する様子が、目に浮かびます。これがきっと、創造するということなのでしょうね。学校でも扱ってほしい教材です。

藤本委員

これは、新しい発想ですね。おもしろい教材ですね。やはり図工は想像と創造のどちらの力も育てる教材を扱うのがいいなのでしょうね。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

それでは、図工について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、図工は【日文】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、生活科の審議を行います。選定委員から生活科について報告

してください。

清水選定委員

「生活科」の選定報告をいたします。選定の対象は、【東書】【大日本】【学図】【教出】【光村】【啓林】【日文】の7者となります。

項目Aの(2)について、【教出】上8ページでは、保育園や幼稚園での活動と比較できるようになっており、保幼小の連携を意識した学習活動が展開できる構成となっています。

項目Bの(1)について、【教出】下42、43ページでは、各地のシンボルが示され、児童が自分の住んでいる地域の伝統や誇りに感じているものに目を向けるきっかけとなるよう、配慮されています。

項目Bの(3)について、【東書】は、上巻末に「ポケットずかん」があり、本体から切り離し、持ち運びができるうえ、実物大の花や昆虫が掲載されており、見比べやすいよう配慮されています。また、【教出】は、下117ページから「学びのポケット」があり、伝え方や電話のかけ方などが示され、知識や技能が身に付けられるよう工夫されています。

項目Bの(4)について、【日文】下135ページのように、盛り上がり印刷で、凸部分を作り、点字を直接体験できるようにしており、関心を高める工夫が見られます。

項目Cの(3)について、【啓林】上の巻頭、下の巻末のように、紙面の大きさを変えて、生活科の学びはじめと学び終わりにアクセントを付ける工夫が見られました。また、【日文】上58ページのように、ページ下部に学習の「めあて」を示し、児童自らが課題を意識しながら学習できるよう工夫されています。

項目Cの(4)について、【啓林】下「3年生へのステップブック」6、7ページには、生活科の学びが3年生以降につながっていくことを示すとともに、将来の夢にもつなげて考えられるような構成となっています。

項目Dの(1)について、【東書】では、目次にQRコードを掲載し、活動の約束や虫の鳴き声のコンテンツにアクセスできるようになっています。【学図】では、下40ページノートの例が示され、学習を深めるための見本となるよう工夫されています。

項目Dの（２）について、【大日本】では、下69ページのように、劇で表現する場面があり、表現を楽しみながら活動する場面が例示されています。また、【教出】では、上120ページのように板書例を示すことで、思考の流れが見えるよう工夫されています。

項目Dの（３）について、【大日本】では、下112ページのように、夜の間の様子を学習するための付録があり、児童の興味を高めるような内容となっています。

項目Dの（４）について、【教出】では、上131ページのように、伝えるための具体的な言葉の例などが掲載されており、言葉の広がりにつながる内容となっています。【光村】では、上145ページのように、活動を通じた自分の思いを書いて表現することができるよう工夫されています。また、【啓林】では、上43ページのように、学習を通じて学んだことを生活に生かすことができるような工夫が見られました。

項目Eの（１）について、【学図】と【日文】に同じような特長が見られました。【学図】では、上16ページ、【日文】では、下32ページのように、色とイラストで学習内容が分かるように工夫されています。

以上で、7者の教科用図書についての報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

藤本委員

子どもたちの興味・関心という点で【大日本】におもしろい工夫があります。上8ページを見ていただけますか。学校探検への準備として、付録がつけられています。入学して間もない子どもたちにとっては、このような付録を作って学校探検を行うというのは、とてもわくわくして楽しいのではないのでしょうか。

嘉名委員

生活科の学習は1・2年生が対象なので、わくわくする気持ちもてる

ような教材があるのは魅力的ですよね。その点では、【東書】上巻の巻末資料「ポケット図鑑」もいいなと思いました。これは、切り離すことができるので、観察する際に持ち運べるのですが、例えば、図鑑に掲載されている植物を校庭に探しに行く活動などがあれば、子どもたちはわくわくして楽しいのではないのでしょうか。さらに、図鑑に掲載されている植物が実物大ということも、紙面が大きいということをも最大限活用していて、おもしろいですね。

藤本委員

巻末資料はどこの発行者も工夫していますね。日常生活で大切なことや道具の使い方など、各発行者で共通するものもあれば、それぞれ特徴的なものもあり、比較するとおもしろいですね。例えば【日文】ですね。上142・143ページを見ていただけますか。ここではぞうきんの絞り方や服のたたみ方などが掲載されていますが、学校生活ですぐに使えるような内容でなかなかおもしろいなと思いました。

尾上委員

巻末資料に関してですが、【大日本】上122・123ページを見ていただけますか。こちらでは、料理について取り上げられています。どれも発達段階を考慮した簡単な料理ですし、食育や高学年の家庭科とも結びつく内容なので、おもしろいと思いました。

澤田教育長職務代理者

【教出】下132・133ページを見ていただけますか。ここでは、各単元で学習したことと関連のある図書が紹介されています。学んだことの発展的な学習として活用できるのではないのでしょうか。また、本市は、小学校で「読書ノート」の活用など読書活動に力を入れています。読書活動の推進という意味でも効果的だと思います。

嘉名委員

【教出】の図書の紹介は、私もいいなと思いました。単純に図書の本を

紹介しているのではなく、単元に関連させている点がいいですね。

松本教育長

他にご意見はありませんか。

澤田教育長職務代理者

【学図】と【教出】は目次に活動時期の目安を掲載しており、1年間の見通しをもてるのが非常にいいと思いました。

藤本委員

澤田委員の意見に同感です。教材の配列について言えば、【啓林】と【日文】では、安全に関する内容が上巻のはじめの方に扱われており、身を守るための学習が入学当初に行われるように配慮されていますね。発達段階を考えると、この時期に安全について学習することはとても大切なことだと思います。

澤田教育長職務代理者

最近では登下校の安全に関することが問題となっていますから、1年生の早い段階で、安全について学ぶことは必要なことだと思います。

松本教育長

様々な機会に安全を意識させることは大切だと思います。他にご意見はありませんか。

嘉名委員

【教出】下42・43ページを見ていただけますか。各地のシンボルがいくつか紹介されています。本市の子どもたちも、自分たちの校区や市のシンボルについて考えるような活動を行えると思うのですが、例えば、認定されたばかりの日本遺産をからめて学習するのもおもしろいのではないのでしょうか。

藤本委員

日本遺産は市のシンボルとして紹介できますよね。そのような学習を通して、地域や郷土に誇りをもつきっかけになる子どもが増えるといいですね。

尾上委員

【光村】上145ページを見ていただけますか。各単元の終わりに、振り返りや自分自身の思いを書き込んだシールを貼る活動があり、楽しみながら表現力を育むことができるように工夫されています。ただ書くだけではなく、それを貼るという作業を加えることで、子どもたちは楽しんで活動できると思います。

澤田教育長職務代理者

私からも活用力に関していいですか。【教出】下121ページを少し見ていただけますか。ここでは、順序をつけて考えたり、分類したりする学習方法について、言葉だけでなくイラスト付きで示されていますね。これは、活用力を育むための一つの手立てとして、どの児童にとってもわかりやすい例示だと思います。

嘉名委員

私も澤田委員の意見に同感です。さらに付け加えると【教出】下106・107ページをごらんいただけますか。ここでも思考ツールの一つである「Xチャート」の板書例が掲載されています。また、同じく【教出】の上131ページでは、伝えたい時に使う言葉や伝え合うために必要なことが具体的に示されており、表現力を育むための工夫もされていると思いました。

松本教育長

その他ご意見はございませんか。

それでは、生活について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、生活は【教出】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、保健の審議を行います。選定委員から保健について報告してください。

清水選定委員

保健の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【大日本】【文教】【光文】【学研】の5者となります。

項目Aの(2)について、【東書】【光文】【学研】に地域での活動が掲載されています。【東書】5・6年33ページ等のように地域の方の活動が大きく取り上げられています。

項目Bの(1)については、【大日本】の3・4年34ページに、子どもの成長をお祝いする行事が取り上げられ、自分たちの成長は、家族や地域とつながっているということが意識できるような仕組みがあります。

項目Bの(2)については、【学研】5・6年29ページに、「もっと知りたい・調べたい」で地域の防災活動などが紹介されています。

項目Bの(3)について、【東書】は、5・6年18ページに「ストレスカレンダー」を設け、1週間の記録をつけることで、自分のストレスを予測し対処しやすくする仕掛けがみられます。

項目Bの(4)について、【東書】では、5・6年7ページ等にあるように、挿絵や写真に高齢者、障がい者、外国人などが多く取り上げられ、様々な人と共に暮らしていることについて配慮されています。

項目Cの(4)については、【東書】3・4年10ページに自分たちの

体には、部分ごとに呼び名があること、また併せて英語での呼び名も紹介しており、他教科との関連が取り扱われています。また【学研】5・6年29ページには、身を守る行動を表す英単語が紹介されています。

項目Dの(1)について、【大日本】5・6年8・9ページのように見開き1ページが1時間の学習分になるよう設定されています。また【光文】3・4年22ページには、学習のまとめで語句や記号を選択でき、個に応じた観点について配慮されています。【学研】3・4年18ページには、学習のふり返りを文字だけでなく、顔マークの記号を選択することで達成度を記入させており、簡潔に書き込みが可能なこと、またそれぞれの顔マークを縦に並べることで、自分の全体の達成度が視覚的に確認できるよう工夫されています。

項目Dの(2)について、各者ロールプレイやアサーションを体験させることで、実際の場面に遭遇した際の対処ができるよう体験させていますが、【大日本】5・6年47ページでは、喫煙の誘いの場面で、相手の気持ちも自分の気持ちも大切にしながら、自分はどのようにしたいのか提案できるよう、アサーションを用いて断ることを体験させています。

項目Dの(3)について、【文教】3・4年13ページにあるようにページの脚注にメッセージや豆知識を掲載し、学習内容を補足したり、意欲を高めるよう工夫されています。

項目Dの(4)について、【東書】5・6年23ページのように、「ステップ3」を深める・伝えると設定し、他の人の意見を聞き、考えたことわかったことを記入する欄があります。毎時間児童が学習した内容を自分の生活に活用することを表現できるよう工夫されています。

項目Dの(5)については、【文教】3・4年16ページのように、各単元の後ろに「わたしの〇〇宣言」があります。学習した内容を活かし目標設定し、みんなの前で宣言することで、学習を振り返り自分に当てはめて考えることができるよう設定されています。また【光文】3・4年40ページのように各単元の終わりに「学習のまとめ」のページがあり、二段階で学習のふり返りができるよう設定されています。

以上、5者の教科用図書についての調査結果報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

藤本委員

近ごろ、見守りや防犯対策がよく言われていますが、保健の教科書の中には、この視点で掲載されている内容はありますか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

清水選定委員

防犯の視点で言えば、4者で地域の「安全マップ」を取り上げていました。【東書】は、5・6年37ページに、【大日本】は、5・6年29ページに、【文教】は、5・6年23ページに【学研】では、5・6年27ページに掲載されていますので、ご覧ください。

藤本委員

防犯に関しては、どれも工夫していますね。

尾上委員

【東書】【大日本】【学研】は、安全マップの作り方が掲載されていますね。安全マップを作成したことがないので、こういう手順が示されていると、学習が進めやすいと思います。【学研】の5・6年27ページには、実際に自分の住んでいる地域を歩いてみることを勧めているように思います。自分たちの地域をいつもと違う視点で見て確認し、新たな地域の様子を知ることにもつながると思います。

嘉名委員

【東書】は、5・6年37ページでは、地域安全マップの例を大きく写真で示し、作る目的や注意点が記載されています。1ページ全体に地域安全マップ作りを勧める内容が取り入れられています。

さらに安全マップ作りの目的もかかれていて、「家庭や地域の人たちと一緒に点検したことをもとに作ってみましょう」とあります。このような活動は、まさしく本市の実情と合致しているのではないかと思います。

松本教育長

他にどうですか。

澤田教育長職務代理者

今回の学習指導要領の改訂の基本的な考え方の一つに、「伝える力を養う」ことが挙げられています。改訂された内容を特長的に取り上げているところはありましたか。

清水選定委員

保健の各単元の目標には、それぞれ考えたことを「表現すること」が加えられています。

その点では、【光文】では、3・4年18ページにあるように、話し合い活動を促している箇所が一番多いです。また、記入箇所が多いのは、【東書】です。【東書】は5・6年34・35ページにあるように記入欄が広く設けられているのが、特長としてみられました。

澤田教育長職務代理者

【東書】は5・6年34・35ページを見ると、ただスペースが広いだけでなく、書き込むときの細かい指示もあり子どもたちが考えを深めるのに役立つと思います。

尾上委員

教えていただきたいのですが、保健の授業では、算数や国語のようにノートは用意しないのですか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

清水選定委員

保健は、1学年で行う時間数が少ないこともあり、ノートを作って学習することは少ないかと思われます。

参考までに、小学校の保健の授業時数は、第3学年第4学年の2学年間で8時間程度、第5学年第6学年の2学年間で16時間程度となっております。

尾上委員

よくわかりました。ある程度考えたことを書き留めるスペースがある方が、扱いやすいということですね。

【学研】では、3・4年18ページのようにどの単元も最後は、「学習をふりかえる」「学びを深める」「明日につなげる」となっています。記入の仕方が定型で用意されていて、子どもたちもまとめをしやすいと思います。顔マークで達成度を並べているのもわかりやすく、他の単元と比べやすいように思います。

嘉名委員

【東書】5・6年23ページを見ていただけますか。ここでは「ステップ3 深める・伝える」に「他の人の意見を聞いて考えたことやわかったことを書きましょう。」の設問が用意されています。これは、このページだけでなく、27ページにも、31ページにも35ページなどにもあります。友だち同士の対話を通して、自分の考えを深めることにつながっていくと思います。こうしたコミュニケーションの幅を広げる内容が盛り込まれていることは、これからの教育に必要なことと思います。

松本教育長

他の観点でもご意見はありませんでしょうか。

澤田教育長職務代理者

私は、保健の学習では、自分の健康管理について小学校から中学校へとつながり、また小中学校で学んだことが生涯の健康につながっていくことを意識してほしい。その点で見ると、【東書】5・6年81ページには、「小学校の保健の学習を終えたみなさんへ」として、小学校の卒業が最後の1ページを使い取り上げられている。これまで学習してきたことをもとに元気に中学校の生活をむかえましょうと書かれていて、これからはじまる中学生活へのつながりが晴れやかに意識させられていて非常にいいと思います。

松本教育長

澤田委員の視点は小中一貫教育を推進する本市にとって大事ですね。他にご意見はございませんか。

それでは、保健について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、保健は【東書】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、道徳の審議を行います。選定委員から道徳について報告してください。

清水選定委員

道徳科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【学図】【教出】【光村】【日文】【光文】【学研】

【あかつき】の8者となります。

項目Bの(3)について、【日文】は、1年もくじのように、文字を使わず絵で教材が並べられており、発達段階に応じたものとなる工夫が見られます。また、6年90ページのように、ふりがなのついた漢字が同じページに二度出てくる際においても、同じようにふりがながつけられており、「読む」ことへの負担が軽減され、より内容が理解しやすくなるよう工夫が見られました。

項目Bの(4)について、【光村】は、5年もくじのように、「いじめを許さない心」として複数の教材とともにユニット化して配置され、コラムとともに掲載されております。【学研】は、6年22ページのように、「子どもの権利条約」を取り扱い、4つの権利の柱が保障された国際的な条約から、権利や義務について考えられるような構成となっております。

項目Cの(3)について、【学図】は、5年6ページのように、各教材の初めに発問等が記載されておらず、児童が主体的に考えられるよう配慮されています。【学研】は、1年36ページのように、見開きを使った大きな写真が掲載され、学習を効果的に進められる工夫がみられました。

項目Cの(4)について、【東書】は、5年176ページのように、全学年において音楽教材を取り扱い、教科と関連しながら、豊かな心が育まれるような工夫がみられます。【光村】は、5年22ページのように、「情報と向き合う」として、インターネットの特性を挙げながら、児童が利用する際のマナーを考えられるような工夫が見られます。

項目Dの(1)について、【学図】は、6年別冊「まなび」9ページのように、コラムにおいて本が紹介されています。同様に【光村】も、6年27ページに、【あかつき】も、6年27ページに取り扱いがあり、読書活動につなげることで発展的な学習となるような工夫が見られます。また、【日文】は、1年48ページのように、教材の初めに主な登場人物がイラストで提示され、【光文】でも、3年56ページのように、同様の工夫が見られ、誰の気持ちを追いながら教材を読み進めればいいのか具体的に視覚化されることで、読解が苦手な児童にとっても内容が把握しやすくなるなど、個に応じた配慮も見られます。

項目Dの(2)について、【東書】は、5年29ページのように、「考え

るステップ」において、立場を交代して考える学習方法が設定され、体験的な学習となるような工夫が見られました。また、【日文】は、4年54ページのように、「学習の手引き」において、グループでの話し合いや問題解決の場面を取り入れ、道筋を立てた学習展開の中で問題解決的な学習ができるような工夫が見られます。

項目Dの(3)について、【光文】は、5年90ページのように、「知ってるつもりビンゴゲーム」を設定し、ゲーム的要素を盛り込み、興味を持って学習に向かえるような工夫が見られます。【学研】は、2年8ページのように、「自分のことを書いてみよう」が設定され、意欲を高め主体的に取り組めるような工夫が見られます。

項目Dの(4)について、【光村】は、4年44ページのように、教材末に「考えよう・話し合おう」「つなげよう」が設定され、自分の考えを表現し、生活につなげられるような工夫がみられます。また、【日文】は、4年別冊「道徳ノート」2ページのように、1つの教材に対して1ページ分の記述欄が設けられ、書くことで自分の考えを深め、他者との考えを整理するなど、表現力や活用力を育むための工夫が見られます。

項目Dの(5)について、【日文】は、5年別冊「道徳ノート」7ページのように、教材ごとに選択式で振り返りができるよう工夫されています。さらに、各教材の下段は、文字以外でも振り返りができ、多様な学習活動でも活用できるなど、学習したことを深める工夫がみられます。また、40ページのように、年間を振り返る記述欄も保護者記入欄とともに設けられています。

以上、8者の教科用図書についての調査結果報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

ご意見、ご質問はございませんか。

澤田教育長職務代理者

答申で、Aの(1)を見ると、【光村】と【日文】の2つの教科書で、

新学習指導要領に特長があると書かかれていますが、もう少し具体的に聞かせてください。

松本教育長

選定委員、どうですか。

清水選定委員

【日文】の3年1ページをご覧ください。道徳の内容に「主として自分自身に関する事」というのがあります。ここでは「自分」と示し、そこから「周りの人」、「みんな」「生命・自然」と、広がっているのが図でわかるかと思います。今回の改訂で、児童にとっての対象の広がりについて整理されています。その点において特長のある2者を取り上げています。

尾上委員

「自分」から広がっていく様子が、図でよくわかりますね。子どもの成長にしたがって、関わる対象がどんどん増えていくのだということが大事なんでしょうね。道徳の価値も、子どもの成長とともに広がっていくことが大事なんでしょうね。

松本教育長

自分自身のことから集団、そして社会や自然へと対象が広がるほうが、子どもにとっても理解しやすく、さらに図で示すことで、イメージを持ちやすくしているのでしょうね。

他にご意見はございませんか。

藤本委員

私は、今、ニュースでもよく取り上げられている“いじめ”について、どう扱うのかが気になります。いじめは学校現場で問題となっていますね。いじめについて深く考えるために、各教科書にどんな特長があるのか、違いを教えてくださいませんか。

松本教育長

選定委員。いじめに関して、発行者の特長を少し説明していただけますか。

清水選定委員

教材の配置に関して、各発行者で特長が見られました。複数教材を合わせてユニット化して、連続して扱う配列のことなのですが、このユニット化して取扱う発行者もあれば、年間を通して、まんべんなく配置して取り扱っている発行者もあります。

澤田教育長職務代理者

いじめ問題は、これまでも絶対にあってはならないと指導されてきましたが、それでもなくならない。非常に残念なことではありますが、学校現場では、よくがんばっていると思います。道徳の授業でも、子どもたちに考えさせる時間をつくって、連続して取り組む必要があると思うのですが、どうでしょうか。

松本教育長

選定委員にお聞きしますが、澤田委員のいう点でみると、先ほど説明いただいたユニット化して、いじめを取り扱っている教科書はどこですか。

清水選定委員

ユニット化しているのは、【日文】【光村】【東書】の3者です。

【日文】は、5年もくじをご覧ください。「いじめをなくすために」とし、3教材と心のベンチが続けてあります。【光村】は5年もくじを開けてください。「いじめを許さない心」とし、2教材にコラムが続けてあります。

【東書】は5年を開けてください。もくじで「いじめのない世界へ」と、2教材が続けてあります。

嘉名委員

澤田委員のおっしゃったことから考えると、一回だけの授業で終わるの

ではなく、2回、3回と連続して扱うのも大事かもしれませんね。一度授業でいじめについて考えたことで、子どもたちの行動に何かしら、良い変化があるかもしれません。その続きで、また、いじめについて取り上げて授業をするという繰り返しが、いじめを深く考えることにつながるのでしょうか。

尾上委員

私も、このユニット化した取り上げ方は、とても工夫されていると思いました。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

藤本委員

学習の手引きというのが、【日文】にありました。4年54ページを見てください。私は、このページですが、工夫されていると思いますね。かなり丁寧に道筋が示されていると思いますよ。

澤田教育長職務代理者

藤本委員がおっしゃった学習の手引きを見ると、これは、問題をつかんで、考え、そして、どう解決するのかという、問題解決的な学習の一連の流れになっています。

嘉名委員

ちょっとした工夫ですが、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」につながるような、問題解決型の授業になるというわけですね。

松本教育長

学習指導要領の話が出ましたので、この観点でご意見をいただけませんでしょうか。

澤田教育長職務代理者

新学習指導要領でいくと、活用力や表現力がポイントかと思います。D(4)「活用力や表現力を育む工夫」というところでお聞きしますが、この記載に教材末と別冊という違いが見られるようです。

松本教育長

選定委員から説明をお願いします。

清水選定委員

別冊と教材末についてご説明いたします。別冊をつけているのは、【学図】、【日文】、【あかつき】の3者です。別冊には、発問に対する考えや、振り返りなど、考えを書く部分が盛り込まれ、書き進めることで考えを深め、表現力が育まれるような工夫が見られます。

また、別冊がついていない教科書としては、例えば、【学研】5年26ページのように、教材の最後に「考えよう」というコーナーが設けられており、問いとして投げかけられることで、自分の考えをまとめられるよう促す工夫があります。

尾上委員

私の感想になりますが、考えを書く作業があることは、子どもたちにとって、なかなか難しいことではないでしょうか。

松本教育長

この前まで、学校現場にいたものとして申しますと、書く作業での子どもたちは、じっくりと時間をかけて考えているように思います。中には、発言することが苦手な子どももいます。しかし、書くことで自分の考えが整理されているように思います。

尾上委員がおっしゃるように、もちろん書くことが苦手な子どももいますが、道徳では、書くことが大事なのではなくて、考えを深めることが重要であると言われていました。

また、教科化になり、教員にとっては、評価していかななくてはなりません

ん。子どもがどんな考えを持ったのか、授業の中での発言だけではわからない部分も、書き残すことで評価に役立っていると聞いています。

藤本委員

私も、書くそして伝えるということは大事だと思います。この【日文】6年別冊の2ページを見てもらえれば、書くスペースも大きくとられていて、この下の段にあるドットのスペースでは多様な活用ができそうです。非常に工夫されていると思いますね。

尾上委員

自由に書いてもいいスペースがあると、自由な発想や書くことが苦手な子どもも抵抗なく書けそうと思いました。

松本教育長

他にご意見はございませんでしょうか。

道徳について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、道徳は【日文】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、国語の審議を行います。選定委員から国語について報告してください。

森本選定委員

国語科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【学図】【教出】【光村】の4者となります。

項目Aの(2)について、【東書】では6年158ページのような、「書くこと」を取り扱うページ数が多く、本市において学力向上の取組みの一つとして進めております言語能力が身につくように設定されております。

項目Bの(2)について、【学図】4年下62ページには、都道府県名の漢字を地図と対応させ、地名入りの短歌と結びつけて設定されております。また、【光村】では、4年上60ページと98ページで東日本と西日本に分けて、地図と対応させながら、文づくりとローマ字表記での課題が設定されております。都道府県名の漢字を使った文づくりの課題は【教出】4年上104ページにも設定されております。【東書】4年下108ページでは、新出の表記と読みが学べるように設定されております。

項目Bの(4)について、人を思いやる心について考える教材や平和について考える教材は、4者ともございますが、【光村】では、3年下11ページ、5年105ページ、6年240、276ページと平和について考える教材が中学年から高学年まで発達段階に応じて設定されており、高学年では自分の考えを持ちまとめるように設定されております。

項目Cの(3)について、【東書】は4年上88ページから91ページのように広告写真が見開きで掲載され、比較して学べるよう工夫されています。【光村】では、5年150ページのように挿絵や図、グラフ、写真が多く使われ、色の区別が識別しやすいように配慮されております。

項目Cの(4)について、【東書】では、3年上56ページのように他教科や領域との合科的な指導が図れる内容となっております。【学図】では、3年上120ページのように社会科など他教科へ学習が広がるよう工夫されております。【教出】3年上72ページも理科の調べ学習など他教科へ学習が広がるよう工夫されております。【光村】4年下53ページ社会科等他教科との関連が図れるようなテーマを取り扱っております。

項目Dの(1)について、【学図】は3年上28ページのように、見開きでノート作成例があり、自分と友達の考えを話し合い活動の中でまとめる方法が掲載されております。【東書】や【教出】でも同様にノートづくりの例が掲載されております。【光村】6年254ページでは、図表の活用の仕方、各種通信文の書き方等、他教科や生活に活かせる活動が掲載さ

れています。

項目Dの(4)について、【東書】は5年151ページのように、説明文を読んだ後に、そのめあてや内容に応じて書く活動や調べる活動等を設定し、まとめる力や表現力を身に付ける内容となっております。【教出】3年上58ページでは説明文の後で具体的な学習活動を順に示すことにより、個人での学習の深まりができる内容となっております。【光村】4年上47ページでは単元の導入に、これから使う国語の力が提示されており、3年以上の各学年には、説明文の読みのポイントを習得させ活用させるために、事前学習教材がある単元を設定しております。

項目Eの(2)について、【光村】4年上48ページのように、ページ下に学習の観点・進め方が細かく示されており、何をどう学ぶか個人の学びができるように工夫されております。

以上、4者の教科用図書についての報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

国語については、どの教科書も同じような題材が取り上げられているようですので、特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

尾上委員

私は、新学習指導要領の内容と言えば、都道府県名の漢字が新たに入ったことにたいへん関心があります。都道府県名は、漢字で書けるようになってほしいと思います。でも、ただ書けるだけでなく、興味を持たせることも大切だと思います。

松本教育長

選定委員から、この点について説明できますか。

森本選定委員

学年別漢字配当表に都道府県を表す漢字20字が追加となりました。そ

の内容については、項目B(2)に記載しておりますので、それぞれご覧ください。【東書】は4年下108ページです。【学図】は4年下62ページです。【教出】は4年上104ページです。【光村】は4年上60ページおよび98ページです。

尾上委員

【東書】は、漢字に焦点を当てたシンプルな掲載ですね。【教出】も同じようですね。本来の漢字を学ぶという部分に特化しているのではないのでしょうか。

嘉名委員

【学図】は、地図と対応して、短歌があります。63ページの最後にある「みなさんが住んでいるところとつながりのある短歌をさがしてみましよう」という部分がいいです。漢字に加えて、社会科の内容が学べます。本市では、総合の時間でふるさと学をやっているなので、その学習へもつながると思います。

藤本委員

【光村】は、98、99ページにも東日本と西日本の2回に分けて掲載されていますよね。こちらも地図との対応があり、社会科の学習にもなると思います。99ページの最後の部分に「都道府県名をローマ字で書きましよう。」というのいいのではないですか。本市で力を入れている英語につながる学習もあわせて学べます。興味を持って学ぶという点では、私は1年生から英語を学んでいる本市の教育と合っていると思います。

松本教育長

他の観点でのご意見がありましたらお願いします。

藤本委員

本市は、小学校で「読書ノート」の活用など読書活動に力を入れていますが、その点について新学習指導要領の内容を教えてください。

森本選定委員

読書に関するご質問ですが、新学習指導要領では、本を探したり読んだりする方法を学ぶだけでなく、読書の意義や効用について理解することができるよう、中学校まで見通した指導事項として系統的に新設されております。また、情報活用に関する言語活動として、各学年共通して学校図書館などの利用を強調しております。

尾上委員

今の説明であれば、ただ単に読書をするだけでなく、学校図書館は情報活用のために活用することに重点が置かれるということですね。

嘉名委員

情報の活用でしたら、私は【光村】5年148ページがいいと思いました。見てもらえますか。統計資料の読み方が掲載されています。また次のページには、グラフや表などがあり、それを用いて自分の考えを説明する学習があります。

生活していくうえで、グラフや表を活用して説明を受ける機会は非常に多いと思います。情報を整理し、自分の意見を論理的に表現する力がこの単元で学べると思います。

澤田教育長職務代理者

嘉名委員が言うように、たしかに身の回りの文章には、グラフや表が説明に用いられていて、それを読み取る力を身に付けることはこれから必要なことと思います。グラフを見て、自分で確かめられる力というものを河内長野の子どもたちにもつけてほしいものです。

松本教育長

他の観点でご意見をいただきたいと思いますが、どうでしょうか。

澤田教育長職務代理者

私は、文化・伝統を語る力を育む教材を探してきました。少し見てもらえますか。

【光村】4年下44ページの「世界にほこる和紙」という教材です。これは、ユネスコの無形文化遺産の内容ですが、このあと伝統工芸のよさを伝える活動につながっています。河内長野の文化・伝統を語るストーリーを学び、それを伝えていく力を育むのにはいい教材だと思います。

嘉名委員

澤田委員の意見に同感です。その続きの53ページの下の部分にも、つながる内容がありますね。見て頂くとわかるように、調べたことを整理して、説明する文章を書いてリーフレットを作り、それを読み合う学習になっています。

河内長野の伝統・文化を説明する力を身に付け、例えば、他学年や地域の方、また他の地方の方に発信できるようになると素晴らしいと思います。

澤田教育長職務代理者

他にも【光村】6年262ページには、「対話を通して学び合う」という内容があり、次のページをめくると、「デジタル機器を使って、プレゼンテーションをしよう」という学習があります。これらの学習内容に取り組むことで、河内長野の文化や伝統を発信する力を育んでほしいものです。

尾上委員

わたしも同感です。そのような力を小学校でぜひつけてほしいと思います。

松本教育長

それでは、国語について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、国語は【光村】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

引き続きまして、理科の審議を行います。選定委員から理科について報告してください。

森本選定委員

「理科」の選定をいたします。

選定の対象は、【東書】【大日本】【学図】【教出】【啓林】の5者となります。

では、各調査の観点ごとに、特に特長のある内容について報告いたします。

項目Aの(2)について、【東書】の、6年216ページでは、6年生で学習した内容がどのように中学1年の学習に発展していくのかが单元ごとに提示されており、中学校の学習につながるよう工夫されています。

項目Bの(1)について、【教出】の、5年145ページでは、「大和川の付け替え工事」が取り上げられており、地域の歴史的事業に触れられています。

項目Bの(2)について、【大日本】の、3年139ページでは、一つひとつの実験に対して自分で予想を立て、結果をシールで貼れるよう工夫されています。また、【啓林】の、巻末資料「ものづくり広場」では、ペットボトルを利用した風力発電の模型作りなどが、複数紹介されており、学習を活かしたものづくりに対する興味・関心が持てるよう工夫されています。

項目Bの(3)について、5者とも実験の結果を記録したノートの図が例示されていますが、特に【啓林】の、3年50ページでは、ノートの図が大きく掲載されており、発達段階に配慮されています。

項目Cの(1)について、【学図】4年3ページの、「4年生で栽培する

植物」では、植物の栽培時期が示されており、計画性をもって学習が進められるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【大日本】の、3年163ページ、同じく【学図】の、3年146ページでは、身の回りのものが電気を通すものか、磁石に引き付けられるものかという間違いやすい概念について、順序立てて整理した図が記載されています。

項目Cの(4)について、【東書】の、4年205ページ、巻末資料「算数科で学んだことを活用しよう」では、実験結果をグラフに表す方法などが示されています。また、【啓林】の、4年192、193ページ、巻末資料「理科につながる算数のまど」では、分度器の測り方などが示されています。このように2者については、算数の既習事項が巻末資料で取り上げられており、理科との関連が図られています。

項目Dの(1)について、5者ともインターネットを活用し、動画コンテンツや関連weBサイトが閲覧できる箇所が、教科書の中で示されています。特に【啓林】は、5年137、138ページのように新しい実験道具が登場する箇所にQRコードが提示されており、その使い方が動画コンテンツで閲覧できるよう工夫されています。

項目Dの(2)について、【大日本】の4年103ページ、同じく【教出】の4年101ページ、同じく【啓林】の4年62ページでは、月の高度の調べ方を、観察器具を使わずに調べられる具体例が掲載されており、体験的な学習が進められるよう工夫されています。

項目Dの(5)について、【東書】の、5年118、119ページ、「学びをつなごう」では、穴埋め式の問題を解きながら、これまで学習した単元の系統性がわかるように工夫されています。また、【大日本】の6年182、183ページ、「学びをリンク」では、電気の性質やはたらきなど、3から6年で学習した単元の系統性が整理して示されています。また、【啓林】の、4年178、179ページ、「これまでの学習をつなげよう」では、気体、液体、固体の性質など、学習した単元の系統性等が整理して示されています。

項目Eの(1)について、【啓林】では、内容が伝わりやすい配色・デザインが用いられており、多様な色覚の児童に対応できるよう工夫されて

います。

以上で、理科の報告とさせていただきます。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

澤田教育長職務代理者

私は、学習指導要領が新しくなっても、理科では問題解決学習の進め方が大切であると考えています。今回の改定でどのポイントが変わったのか教えてください。

松本教育長

森本選定委委員からお願いします。

森本選定委員

新学習指導要領では、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養が大きな目標として掲げられています。「小学校 理科」では、科学を学ぶことの意義や有用性を実感して、科学への関心を高めるために日常生活や社会との関連が重視されています。

藤本委員

たしかに、各発行者の教科書に、学習した科学技術が自分たちの生活にどのように生かされているのかについて取り上げられているコーナーがあります。中でも、【啓林】の6年81ページにある「つなげよう」というコーナーは、ほぼすべての単元の終わりに設定されていて、写真も大きく掲載されています。これなら、子どもの科学への興味・関心を高めるのに効果があると思います。

尾上委員

私は、科学への興味・関心という観点で、【大日本】です。5年136

ページの「つくってみよう」を見てください。ふりこの学習をしたあとに、メトロノームづくりを紹介しています。学習を活かしたものづくりがおもしろく取り上げられているなど思いました。

嘉名委員

教科書は、随分と変わりましたね。興味づけに工夫が見られますね。

尾上委員の言う、学習を活かしたものづくりでは、【啓林】の6年212から215ページの巻末資料を見てください。「ものづくり広場」が風力発電の模型を紹介するなどしていて、内容・量ともに充実しているように感じました。

松本教育長

たしかに、授業の中でも子どもたちが興味を持って取り組めそうな内容が取り上げられていますね。

他にご意見はございませんか。

澤田教育長職務代理者

先ほどの選定委員の報告にあった、【学図】の4年3ページの植物の栽培時期が示された図。これは、計画性をもって学習が進められるという点で、使いやすいと感じました。他の教科書でも同じような内容は扱われているのでしょうか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

森本選定委員

【啓林】の目次のページの下の部分に、「理科の季節ごよみ」というカレンダーがあります。そこには、植物を栽培するのに最適な時期がイラストと共に記されています。

松本教育長

市内の小学校では、ここ数年で教職員の平均年齢が大変若くなってきています。また、子どもの減少で1学年単学級の学校も目立ってきています。今までは、経験のあるベテラン教員が同じ学年で植物の栽培なども指南してくれていたことと思いますが、経験の浅い教員にとって、このように栽培時期や栽培するポイントがわかりやすく示されていると助かるかなと思います。

尾上委員

私も同じです。子どもたちにとっても、見通しをもって学習が進められるので、安心ですね。

松本教育長

他にありますか。

藤本委員

【東書】と【啓林】は特に算数科の既習事項とのつながりを考えて、より配慮された内容になっているように思います。少し教えてほしいのですが、新学習指導要領では、横断的な学習を充実させることが求められていると聞きました。その点で特長的なものを教えてください。

松本教育長

選定委員、お願いします。

森本選定委員

【東書】【大日本】【教出】【啓林】では、他教科とのつながりを示す記載が所々にあります。特に理科は、算数との関連が必要になる場面が多くあります。その点においては、【東書】の6年213ページの巻末資料「算数科で学んだことを活用しよう」では、実験結果をグラフに表す方法などが示されています。また、【啓林】の4年192、193ページの巻末資料「理科につながる算数のまど」では、分度器を用いた角度の測り方等が丁寧に示されています。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

澤田教育長職務代理者

【大日本】は、5年130から135ページのように、ふりこの1往復する時間の規則性について「ふれはば」「ふりこの長さ」「おもりの重さ」を変える3つの対照実験を結果まで整理されて、予想から実験、結果までの流れがよくわかる内容になっていました。

嘉名委員

澤田委員がおっしゃるように、観察や実験は楽しくできたが、結果や考察にうまく結びつけられずに、深い学びにつながらないことはよくありますので、結果やまとめを丁寧に扱っていることは、とても重要です。

松本教育長

その辺について、選定委員どうですか。

森本選定委員

学習したことの定着という観点については、新学習指導要領では学習を通して「何ができるようになるか」が重要視されています。【東書】の6年149ページの単元冒頭で「学ぶ前の私」で「電気とわたしたちの暮らしにはどのようなつながりがあるのだろうか」という問いかけがあり、165ページの単元終わりに「学んだ後の私」で再び同じ問いかけがされています。同じく【啓林】でも6年153ページの単元冒頭で「はじめに考えてみよう」で「太い枝を切るはさみは、どうして持つ部分が長くなっているのだろうか」という問いかけがあり、165ページの単元終わりに「もう一度考えてみよう」で再び同じ問いかけがされています。

尾上委員

選定委員の説明を聞いて分かりました。単元の前と後に同じ問いかけに

取り組むことで、子ども自身がわかったことなど実感できるよう工夫されているわけですね。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

嘉名委員

本市は、ICT機器の導入にいち早く取り組み、教員は授業で使えるタブレット型PCを一人1台持って授業に活用しているようです。私の大学でもICT機器を活用して授業を進めていますが、特に理科という教科の特性から見ても、機器を活用し効果的に学習を進めることは必要だと思います。この点で工夫した教科書はありますか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

森本選定委員

今回の教科書には、それぞれQRコードがつけられており、ウェブ上の関係する資料にアクセスできるようになっています。例えば6年生の教科書で見ると、【東書】では、220ページにQRコードがあり、これをタブレットパソコンで読み取れば、「Dマーク」が付けられているページの関連する資料にアクセスできます。【大日本】でも6年5ページから、同じようにウェブサイトアクセスできますし、【教出】でも6ページのQRコードから、「まなびリンク」にアクセスできます。【学図】では、QRコードで「学図プラス」のページにいき、主に器具の使い方を解説するようになっています。【啓林】では、多くのページにQRコードがあります。表紙にもQRコードが付けられていて、関連するたくさんの資料を利用することができます。

嘉名委員

これは、タブレット型PCを授業で利用している河内長野市の教員にと

っては、このQRコードはかなり便利ですね。とくに理科は動画を見せたいですね。また、【啓林】のQRコードは、とてもたくさんありますね。

森本選定委員

【啓林】は、6年の教科書だけで、50箇所以上のQRコードが掲載されています。NHKの動画へのリンクなどもあって、多くの資料を活用できるようになっていきます。

澤田教育長職務代理者

理科は、いろんな事象を視覚にうったえて、興味をわかせる、そして疑問を持つところから始まります。これだけ多くのデータがコンテンツとしてあるのは、非常に活用しやすいです。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

それでは、理科について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、理科は【啓林】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、社会の審議を行います。選定委員から社会について報告してください。

坂田選定委員

社会の選定報告をいたします。

選定対象は、【東書】【教出】【日文】の3者となります。

項目Aの(2)について、【東書】6年政治国際編114、115ページでは、「中学校に向けて」として、2ページにわたって中学校での社会科について示されており、見通しを持ちつつ、円滑なつながりを持たせ、中学校での学習を意識しながら学習を進めることができるよう配慮されています。

項目Bの(2)について、【日文】4年90、91ページでは、「復旧から復興へ向けて」として、身近な場所で起きた阪神・淡路大震災の復興について取り扱われております。

項目Cの(3)について、【東書】5年上4、5ページでは、各学年のはじめに「〇年生で学ぶこと」というページが設定されており、児童が見通しをもって学習に取り組むための配慮がされています。

項目Cの(4)について、【東書】3年2、3ページ、【教出】3年1ページでは、教科書の巻頭に生活科を振り返るページが設定され、生活科とのつながりについて触れられています。

項目Dの(1)について、【東書】各学年の目次、【教出】各学年の目次、【日文】各学年の目次では、教科書内にQRコードやURLが記載されており、それらを読み取ると、動画やワークシート等のコンテンツにアクセスすることができ、補充的・発展的な学習に対応できる内容が取り扱われています。

項目Dの(2)について、【東書】6年政治国際編8ページから23ページでは、学習課題について、「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」という段階が明示され、それぞれの学習の目当てが記載されています。

項目Dの(4)について、【東書】3年32ページの「いかす」では、学習してきたことを活用し、学習をさらに深める内容が取り扱われています。

項目Dの(5)について、【教出】4年214ページでは、当該学年で学習したキーワードにチェックを入れる欄があり、既習事項の中で特に重要な言葉について確かめることができる工夫がされています。

項目Eの(1)について、【日文】5年80ページのように、「土地の使われた」の地図において、色別のみで表現せず、柄を加える部分を多くす

ることで、色の判断がつきにくい児童にも配慮がされています。

以上で、3者の教科用図書についての報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

澤田教育長職務代理者

【東書】6年歴史編100ページを見ていただけますか。ここでは日本遺産について扱っています。これに関連させると、5月に認定された本市の日本遺産についての学習を行うことができると思います。この学習を通して、ふるさとに誇りをもつきっかけになればいいと思います。

藤本委員

私も澤田委員の意見に同感です。【日文】の6年120ページでも、日本遺産についての記述がありました。【日文】でも本市の日本遺産を関連させた学習ができます。本市の魅力を再確認することで、ふるさとや郷土への愛着が育まれるといいですよ。

尾上委員

【日文】4年90ページをご覧ください。ここでは、阪神・淡路大震災の復興について取り上げられています。子どもたちが住んでいる身近な地域で大きな被害がでた阪神・淡路大震災を学習することは、震災を風化させないためにも、それから、自然災害の備えや知識を学んで、防災意識を高めるうえでも非常に大切なことだと思います。

澤田教育長職務代理者

尾上委員のおっしゃるように、自然災害はいつ起こるか分からないので、子どものうちから防災教育について学ぶことは大切なことと思います。

松本教育長

昨年度大阪北部地震もありましたし、防災教育を学ぶのは大事だと思います。他にご意見はありませんか。

嘉名委員

【東書】の5年上4ページ、5ページを見ていただけますか。ここでは、各学年で学ぶことが示されています。授業でも見通しをもって取り組むことが大切だと言われているので、一年間どのようなことを学ぶのかを知ることは、子どもたちの学習を効果的にすすめるうえで重要ですし、また、学習意欲の高まりも期待できるのではないかと思います。

松本教育長

嘉名委員のおっしゃる通り、見通しをもつことは非常に大切ですよね。では、今回の新学習指導要領のポイントとしている所との関連についてはどうですか。選定委員お願いします。

坂田選定委員

【教出】の5年114、115ページを見てください。単元をまとめる場面ですが、対話的、問題解決的な学習を意識した構成になっていると思います。子どもたちにとって社会的な見方や考え方の参考になると思います。

嘉名委員

私は、社会的な見方や考え方で言うならば、学習指導要領で示された「対話的な学び」の観点もいるのではないかなと思います。【東書】5年下133ページを見ていただけますか。グループで話し合う活動を例示した場面が掲載されています。他にもこのような子どもたち同士が話し合う場面があって、「対話的な学び」を意識したものとなっています。

次に【日文】の6年227ページでも、子どもたち同士の話し合いの場を例示しています。少し見ていただけますか。これを見ると対話的な活動を通して考えが深まっている様子が見えるとと思います。また、子どもたちの話し合い活動のヒントになるとと思います。

澤田教育長職務代理者

たしかに、どの教科書も、「主体的で対話的な学び」を意識した内容となっています。さらに付け加えるなら、活用力や表現力を育むという点で、私は【東書】が非常に工夫していると思いました。【東書】の6年歴史編54ページを見てください。ここでは、単元をまとめる活動として、4コマ漫画にセリフをいれる表現活動というものを提示しています。他にも、プレゼンテーションにまとめる活動、意見文にまとめる活動など、いろいろな例が示されていて、活用力や表現力が高まることが期待されると思います。

尾上委員

私も、【東書】にまとめの活動例が多く示されているのはおもしろいと思いました。このようにいろいろな活動があると、子どもたちは主体的に活動に取り組めるのではないかと思います。

嘉名委員

社会というのは、調べる学習が多いような気がします。その点では、主体的な活動を促す例があると、子どもたちもいきいきと取り組めるのではないかと思います。

松本教育長

その他ご意見はございませんか。

それでは、社会について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、社会は【東書】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、地図の審議を行います。選定委員から地図について報告してください。

坂田選定委員

地図の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】と【帝国】の2者となります。

項目Bの(3)について、【帝国】7ページから18ページにかけて、地図標記の決まり事や地図帳の使い方が12ページにわたって詳しく説明されており、児童の発達段階を配慮した内容となっています。

項目Bの(4)について、【帝国】1ページの世界地図では、世界の国々の言葉での「こんにちは」が、イラスト付きで説明されており、国際理解や多様な言語について考えることができるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【帝国】21ページからの地図導入時のページでは、文字の字体、情報量、高低差を見分けるための色分けの種類等を変え、初めて地図を学習する児童に配慮されています。

項目Cの(4)について、【東書】64ページの地図では、世界の料理の写真を掲載し、家庭科や食育と関連させられる内容を取り扱っています。また、【帝国】115ページでは、手話による都道府県の表し方を紹介した「手話で表す都道府県」のコーナーが設けられ、インクルーシブ教育に配慮した内容となっています。

項目Dの(1)について、【東書】79ページ80ページでは、日本にあるすべての世界遺産の写真が掲載されています。

項目Dの(3)について、【東書】1ページから4ページでは、「地図のぼうげんに出発!」と題して、イラストを多用したページを設け、地図に初めて触れる3年生の興味が高まるよう配慮されています。また、【帝国】13ページ、14ページでは、地図上の距離から実際の距離を求めたり、宝探しに挑戦したりといった活動を盛り込み、児童の学習意欲が高まるよう工夫されています。

項目Eの（1）について、【帝国】54ページでは、色覚特性のある児童にも判別しやすいように、果樹園や畑、田などには、色の下に模様を入れています。

以上で2者の教科用図書についての報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

澤田教育長職務代理者

【帝国】46ページをみていただけますか。近畿地方の地図ですが、本市のあたりを見ると、伝統産業である「つまようじ」の記載があります。

藤本委員

つまようじのイラストも掲載されていますよね。それに、【帝国】には河内長野のお寺についても記載がありますよね。ダムに関しては2者とも掲載されていますが、つまようじとお寺に関しては【帝国】にしか記載はありませんでしたね。

嘉名委員

最近世界遺産について話題になりましたよね。【帝国】の7、8ページを見てください。地図についての導入ページですが、つい先日世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」の一部である、仁徳天皇陵付近の地図が使われています。本市の子どもたちにとって身近な場所であり、また、大阪で唯一の世界遺産ですから、興味をもって学習に取り組めることが期待できると思います。

尾上委員

きっとこれからもテレビや報道等で目にする機会も多いでしょうし、身近な場所が地図学習の導入に掲載されていることで、興味・関心の高まりが期待できますよね。それから、興味や関心でいいますと、たしか【帝国】

の最後のほうだったと思いますが、117ページを見ていただけますか。地図帳の随所に「地図マスター」と題して、レベル別の問題が示されており、問題を解いていくと、この丸に色をぬっていけるようになっていきます。楽しみながら知識を習得できるだけでなく、ぬりつぶした箇所が増えていくと達成感も味わえるのではないかと思います。

嘉名委員

達成感という点では、【東書】の87ページをご覧くださいませ。索引のページですが、すべての言葉にチェック欄がついています。各学習で習った地名などにチェックをつけていくことで、達成感を味わえるでしょうし、既習事項の定着にも効果的なように思います。

澤田教育長職務代理者

選定委員に質問よろしいですか。新学習指導要領では、これまで地図帳は4年生で配布されていたものですが、3年生から使用することになったとのことですが、その点で工夫が見られる教科書はありますか。

坂田選定委員

【東書】1ページから4ページを見ていただけますか。ここでの世界地図と日本地図は、あえて文字を使わず、イラストだけを使っており、初めて地図帳を手にする子どもたちの発達段階を考慮したものとなっております。続けて、【帝国】19ページから28ページにかけての地図をご覧ください。あえて情報量を少なくしたり、文字の字体をかえたりするなど、初めて地図帳を手にする3年生の発達段階に配慮した日本地図が掲載されています。

澤田教育長職務代理者

たしかに、【帝国】19ページからの地図と31ページ以降の地図と比較すると、違いがよくわかりますね。19ページからの地図は、記載内容を精選したり、イラストを多くしたりする工夫がみられますね。3年生という発達段階を考えると、そういった配慮は必要でしょうね。

藤本委員

澤田委員のおっしゃる通り、私もこの地図は非常に見やすいと思いました。

尾上委員

私は【東書】の巻頭の地図も、文字を使わずイラストだけを掲載しているのは斬新でおもしろいと思いました。地図帳に興味をもつ子どもが増えそうだと思います。

藤本委員

たしかにそのページはおもしろいですよね。ただ、【帝国】は、さきほどの情報量を精選した地図もそうですが、地図帳の使い方にもかなりページ数をさいていますよね。【帝国】7ページを見ていただけますか。このページから18ページまでを地図帳の使い方にさいています。3年生が使うことを非常に意識した構成で、とてもいいなと思います。

尾上委員

私から地図の見やすさについて選定委員に聞いていいでしょうか。

【帝国】の51ページ52ページと、【東書】の37ページ38ページ見ていただけますか。2者を比較すると、同じ中部地方の地図でありながら、見え方が違うように思いますが、なぜこのように違って見えるのか、選定委員会では何か議論はありましたか？

坂田選定委員

選定委員会でも議論になりました。実は2者を比較すると、土地の高さによる色分けの種類が違います。【帝国】の方が色分けの種類が少なく、【東書】の方が色分けの種類が多いことで、見え方が違います。

尾上委員

色分けが少ない【帝国】のほうが、はっきり見えるように思うのですが、

どうしてなのでしょう。

嘉名委員

つまり色分けが少ないことで、高低差がより鮮明になるということですか。

坂田選定委員

選定委員会でもそのような理解となっておりました。

嘉名委員

感じ方は人それぞれでしょうが、小学生が使用するということを考えれば、私は色分けが少ない【帝国】の方が高低差に関してとらえやすいように思います。

松本教育長

では、そろそろよろしいでしょうか。

それでは、地図について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、地図は【帝国】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、書写の審議を行います。選定委員から書写について報告してください

坂田選定委員

書写の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【学図】【教出】【光村】【日文】の5者となります。

項目Aの(2)について、【日文】5年37ページでは、作成した提案文で最後には地域の方に参加を呼びかけるよう記載されています。

項目Bの(3)について、【東書】3年13ページには、学習内容を系統的に分類・整理したものをインデックスで示して児童が学習しやすいように工夫しています。【学図】5年38ページから53ページでは、資料が豊富に用意され、書字技能を的確に活用できるように配慮されています。

項目Cの(3)について、【東書】1年4、5ページ「かきやすいもちかた」では実際に手を置く位置が示されているだけでなく左右両方の持ち方の写真が掲載されています。【教出】5年28、29ページでは、筆の運びの写真をひらがなの学習で掲載する工夫がされています。【光村】3年12ページでは筆の運びの写真やイラストを掲載する工夫がされています。

【日文】6年16、17ページ「平仮名と片仮名ができるまで」では、分かりやすく伝わるよう大きな写真を使って説明がされています。

項目Cの(4)について、【東書】では、4年24、25ページのように国語との合科的な指導が図れる内容となっております。【教出】では、5年19ページから21ページのように書写の学習が、2学期に行われます社会見学の学習に広がるよう工夫しております。

項目Dの(1)について、【光村】6年19ページから26ページまでの「書写ブック」では6年間の既習事項が掲載され補充的・発展的な学習の工夫がされています。

項目Dの(2)について、【教出】6年8ページのように「練習用紙の作り方」が掲載されており、自分のめあてに合わせた学習ができるように工夫されています。

項目Dの(4)について、【学図】6年36、37ページ「6年生のまとめ」には色紙や絵手紙などの作品集を作成する手立てが提示されています。

【教出】6年30ページから33ページには自分の好きな言葉を選んで友だち同士で話し合う活動が取り入れられています。【日文】6年28ページ「言葉の窓」では季節を感じる言葉をあつめて文を作り、友だちや先生と伝え合う活動を取り入れるよう工夫されています。

項目Eの(1)について、【教出】6年31ページのように色を使って文字の組み立て方が視覚的に捉えられるよう配慮されています。

以上、5者の教科用図書についての調査結果報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

嘉名委員

最近、スマホや携帯電話の普及に伴って、文字を書くということが減っています。本大学の学生を見ても、メモを取るよりPCやスマホですね。学習指導要領には、「文字を正しく整えて書くことができるようにする」とあります。また、「書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる」ともあります。このような観点にどの教科書も、さまざまな工夫や配慮がされていました。

澤田教育長職務代理者

自分が学習で身に付けたものを活用するための効果として、工夫されている所がありました。【学図】6年34ページから49ページでは、資料が豊富に掲載されています。

藤本委員

澤田委員の資料の充実といった子どもの発達段階に応じた内容にすることは、効果的に学習を進めるために大切ですよね。

松本教育長

その点に関しては、【東書】1年4ページ5ページで内容に特長が見られますね。「かきやすいもちかた」で実際に手を置く位置だけではなく、左右両方の持ち方が写真で示されています。基礎から始める1年生にとっては、欠かせない配慮だと思いますが、選定委員はどうでしたか。

坂田選定委員

このように、1年生の鉛筆の持ち方の指導は、学校現場で見ているだけでも大切だと感じます。高学年になるとその指導はあまり行われませんので、1年生でこのように丁寧に指導することで習慣化されますし、3年生からの毛筆の学習にもつながると思います。

尾上委員

その3年生からの毛筆授業について、いいでしょうか。【光村】3年12ページでは、筆使いについて写真とイラストを使って分かりやすく示されています。ここに記載されている「始筆」や「終筆」の写真やイラストはとても分かりやすいですね。3年生の最初の毛筆指導でこのような工夫があると興味や関心が高まると思います。

澤田教育長職務代理者

尾上委員がおっしゃるように、筆使いの写真があると子どもにとって非常にわかりやすいものです。さらに、ひらがなを書くことは、児童にとっては大変難しいものです。【教出】5年28ページ29ページも見てください。このように筆の写真とポイントが示されていると筆圧や筆の動きが分かりやすく、これだと子どもだけでなく、教える教師にとっても効果的に授業を進められます。

松本教育長

選定委員の方では、この点についてどうでしたか？

坂田選定委員

効果的に進めるという点では、【日文】も工夫されていると思います。6年16ページ17ページを見ていただけますか。漢字の伝来について興味を高める配置やデザイン、色合いとなっています。シンプルな文字指導の紙面とは区別されていることも、学習を効果的に進めることにつながると思います。

尾上委員

これは、他の教科との関連についても工夫されているということですね。

坂田選定委員

おっしゃるとおりです。【教出】5年19ページから21ページでは、社会科の工場見学の時期に合わせてメモの取り方の学習が記載されています。河内長野市では、2学期に自動車工場などへ社会見学に行く学校があります。適切な時期に学習できる配慮がされています。

松本教育長

たしかに他教科との関連も工夫がみられますよね。それでは、本市の課題である「活用力や表現力を育む」ための学びという点では、特長があったと思われたものがありましたか？

尾上委員

私は面白いと思ったのが、【光村】です。6年19ページから26ページでしょうか。「書写ブック」というものがあったと思います。この「書写ブック」で1年生から6年生までの学習したことを振り返ることができると思います。これがあれば普段の生活の中で書写を活かせるようになると思います。

嘉名委員

【教出】5年8ページに工夫がみられます。「練習用紙の作り方」というのがあって、子どもが自分の課題を把握して、その課題解決のための練習を自分ですることができると思います。書写の学習でも、このように主体的な学習が行われることは非常に大切だと思います。

松本教育長

今、嘉名委員から主体的というキーワードがありました。新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った内容についてはどうでしょうか。

藤本委員

私は【日文】ですかね。6年28ページ「言葉の窓」というのがあります。文を作ること終わらずに、友だちや先生と伝え合うことが重視されています。友だちや先生とも対話を行うことは、まさに対話的な学びの視点を取り入れられていると思います。

澤田教育長職務代理者

私は【教出】で工夫されていると思いました。6年30ページから33ページが主体的・対話的で深い学びの視点に立ったものと思います。

この「好きな言葉を書く」という単元では、まず、自分にとって取り組みたくなるような学習課題が設定されています。子ども同士の話し合いや文字との対話で考えが広がり深まる。最後に「できた」といった学びの実感を持たせていると思います。河内長野市の子どもたちもこのような学び方を通して、仲間とともに学びの質を高めていってほしいと思います。

嘉名委員

全体的にバランスが取れているのは【教出】といったところですかね。

松本教育長

それぞれについて、よさがあるようなご意見でしたけれども、よろしいでしょうか。

それでは、書写について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、書写は【教出】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、算数科の審議を行います。選定委員から算数科について報告してください。

木村選定委員

算数科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】【大日本】【学図】【教出】【啓林】【日文】の6者となります。

項目Bの(2)について、【教出】1年134ページのように、かさの単元において、等しい量のものを、形の違ういくつかの容器に移し替えるとき、見かけは変わるが量は変わらないということに気付かせるための導入が取り扱われています。

項目Bの(3)について、【日文】では、5年上30ページのように、学習の流れに応じた児童の写真を取り入れ、学習活動が深められるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【東書】5年下70ページ、【大日本】5年157ページ、【日文】5年下45ページのように、割合の単元の数直線で、「くらべる量」と「もとにする量」が色分けされており、児童が数量関係を理解し立式できるよう工夫されています。【学図】では、1年上67ページのように、「なんばんめ」の単元で、「め」に色を付けて用語によって数え方の違いを意識させる工夫がされています。また、イラストが整理されており、数え方の理解ができるよう工夫されています。

項目Dの(1)について、【日文】では、4年上55ページのように、「データの活用」で、身の回りの事象についてデータを収集し、表やグラフ、二種類のデータを同じグラフ上で表し、分析できるよう発展的な課題が取り扱われています。

項目Dの(2)について、【東書】では、2年上8ページのように、グラフに整理するデータを、2つの項目で記載され発展的に扱うことができるものになっています。【大日本】では、2年15ページのように、課題に沿って作成したグラフを踏まえ、新たな問いに対しそのグラフの考察を

活用して解を導き出す学習が設定されています。【学図】では、2年上14ページのように、表とグラフの単元では、数学的な見方・考え方を育むよう項目を配列させる課題が取り扱われています。

項目Dの(3)について、【日文】では、どの学習場面でも、取り外して使える学び方ガイドが巻末に取り扱われており、意欲や関心が高められるよう工夫されています。

項目Dの(4)について、【教出】では、5年95ページのように『算数ワールド』において、数学的な見方や考え方を観点とした問題が取り扱われており、児童が活用力・表現力を育むよう工夫されています。

項目Dの(5)について、【学図】1年上47ページ、【日文】1年上53ページのように、「たしざんえほん」「ひきざんえほん」を作成させる活動において、「あわせて」と「ふえると」、「のこりは」と「ちがいは」の言葉の意味と理解を踏まえた課題が取り扱われています。【教出】では、2年下51ページのように、学んだことを確認し生かすことできるよう各単元巻末に『学んだことを使おう』が設定されています。【啓林】では、5年129ページのように、面積の単元で、三角形の面積から学ぶよう設定されており、底辺と高さを意識させることで、平行四辺形の面積の求め方が理解できるよう工夫されています。

以上で算数科の選定報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。答申を見ますと、どの教科書も大差なく拮抗しています。どなたさまからでも結構ですので、ご意見をお願いします。

澤田教育長職務代理者

算数はわからない、算数は難しいという先入観から、算数の授業に、なかなか前向きに取り組むことができない児童は多いと思います。子どもたちの興味、関心を高めて学ぶことができる教材や工夫があれば、まずは、楽しんで学習に取り組めると思います。先程の報告にありましたが、【教出】1年134ページのかさの単元の導入は、確かに工夫がされていて、

1年生にはわかりやすいと思いました。

嘉名委員

澤田委員がおっしゃるように、子どもたちに何を考えるのかを気付かせるような工夫は、【東書】と【日文】の特長ですね。例えば【東書】1年55ページ、【日文】では1年38ページにあります。このような導入は、子どもたちにとって、わかりやすいですよ。

藤本委員

私も、報告にあった【東書】と【日文】の面積の導入で、陣取りゲームを楽しみながら学習に入っていく展開はいいと思いました。陣取りゲームの結果から広さ比べをして、比べるために必要なものは何かを考えさせることで、関心を高めて、児童が意欲的に取り組める内容だと思いました。

嘉名委員

児童が興味や関心を高めて、意欲的に学習に取り組んだとき、やはり、算数でつまづくポイントは、式を立てられないことや、計算がうまくできないことだと思います。児童がつまづきやすい単元はどのようなものがあるか教えてください。

松本教育長

木村選定委員お願いします。

木村選定委員

調査員報告では、小数や分数の計算や割合に関係する単元で、つまづくことが多いと聞いております。

嘉名委員

そうすると、報告にあった割合の単元の数直線での「くらべる量」と「もとにする量」が色分けされているのは、子どもたちが式を立てやすいように工夫されているということですね。

木村選定委員

その内容についてご説明します。【東書】5年下70ページ、【大日本】5年157ページ、【日文】5年下45ページにそれぞれ扱われています。

尾上委員

単元は違うと思いますが、【学図】の、1年上67ページ。「なんばんめ」の「め」に色を付けて、用語の違いをはっきりさせていると思います。言葉の持つ意味を正しく理解させて、かぞえ方を理解できるように工夫されていると思います。

松本教育長

皆さんの意見を聞いていると、興味や関心を高めたり、児童が基礎的・基本的な学力を身に付けるための工夫をしている教科書がいいのではないかと思います。それに合わせて、学習方法も大切ですよね。何をどのように学ぶかを児童が意識することによって、学びの理解が進んだり、深まったりすると思いますが、この点については、どうでしょうか。

嘉名委員

今、教育長がおっしゃった学びの深まりという点では、【日文】はどうでしょうか。6年12ページを見てもらえますか。活動の流れを示していて、どんな問題なのか、何を考えればいいのか、わかりやすく示されています。折り込みページを開けると、みんなで学び合う活動が掲載されていて、学びが深まっていきそうな内容が取り扱われています。

藤本委員

このような取り扱いをしているのは、確か【東書】と【大日本】でもあったと思いますが。

松本教育長

木村選定委員お願いします。

木村選定委員

藤本委員のご質問にお答えします。【東書】では、6年63ページ、【大日本】では、6年31ページです。

嘉名委員

私は学び方も大事ではないかと思います。例えば、【日文】の巻末にある学び方ガイドは、算数には、筋道を立てて考えるという特性があると思うのですが、それをうまくガイドにしている、利用しやすくしていると思います。

澤田教育長職務代理者

おっしゃるように、算数というと、一人で問題に向き合って学習するようなイメージです。一人で考えて、わからなかったりすると、途中で嫌になってあきらめてしまいがちになると思います。みんなで学び合うこのような活動を踏まえて、学習を進めると、算数ができる、できるという子どもが増えて、あきらめることなく、楽しんで授業を受けることができそうです。

嘉名委員

でも、せっかく、そのときに楽しんで学んだことを理解できても、何日かすると、学んだ内容を忘れてしまったりすることってよくあるじゃないですか。特に算数では学んだことが定着するように、練習問題に取り組むことも大切だと思います。

松本教育長

たしかに理解が定着するには、理解を深めるためにも練習問題をしっかり取り組む必要があると思います。

澤田教育長職務代理者

【日文】の5年下55ページを見てください。「次の学習のために」と

して、単元に関係する問題に取り組めるようになっていきますね。問題数で言えば、【日文】が多くて、しっかりと学習を振り返ってから、新しい単元に入って学習を進めることができると思います。

嘉名委員

私も同感です。この【日文】の「次の学習のために」というのは、他の教科書にはないのですか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

木村選定委員

単元に入る前に、準備として1ページを使って予習させているのは、この【日文】の「次の学習のために」しかありません。

松本教育長

教員は新しい単元に入るたびに、その予習として、関係する問題にあたらせています。教員がわざわざ問題を作成しなくても、その問題がすでに教科書に掲載されていると、扱いやすいのではないかと思います。

藤本委員

事前に予備知識の確認と、もう一度忘れていたことを思い起こすことは、学習を進めるうえで、大事なことですね。

嘉名委員

問題に多くあたらせることに、加えて【日文】では、例えば、6年198ページのように、算数で求められる論理的思考を養う問題を扱っていますよ。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

ないようですので、算数について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、算数は【日文】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

引き続きまして、音楽の審議を行います。選定委員から音楽について報告してください。

木村選定委員

「音楽」の選定をいたします。

選定の対象は、【教芸】【教出】の2者となります。では、各調査の観点ごとに特に特長のある内容について報告いたします。

項目Bの(1)について、【教芸】の、6年48、49ページでは、「越天楽今様」について、旋律の歌唱に加えて、雅楽を演奏する写真と歴史が掲載され、総合的に学んだ上で鑑賞できるように設定されています。【教出】の6年36、37ページでは、同じく、「越天楽今様」について、旋律の歌唱と伴奏の楽譜が掲載され、雅楽の特長を学んだ上で笛の演奏ができるよう設定されています。

項目Bの(3)について、【教芸】の、1年36ページでは、鍵盤ハーモニカの学習で、ドとソの位置を学んでから、「ドレミ」を学び、「ドレミファソ」を身につけるよう段階的にスモールステップで学べるよう配慮されています。【教出】の、1年36ページでは、「ドレミ」を学んでから、「ドレミファソ」を学び、3つの音を選んで教科書に書き込み、友達とつなげて曲づくりの基礎が学べるよう配慮されています。

項目Bの(4)について、【教芸】の、6年74ページでは、ブライン

ドサッカーや身近なものの音の働きや役割について取り上げ、視覚に障がいがある人と共に生活することについて考える資料を取り入れてあります。【教出】の、6年の冒頭ページでは、視覚障がいのあるピアニストのメッセージが記載されています。また、6年71ページのように、歌を手話で表現する方法が掲載されており、障がいを持った人と音楽のつながりを考えさせる内容となっています。

項目Cの(2)について、【教芸】では、オーケストラの扱いにおいて、3年48、49ページで金管楽器、4年52、53ページで木管楽器、5年22、23ページで弦楽器、6年16、17ページでオーケストラというように段階的に扱われています。

項目Dの(1)について、【教芸】では、2年40、41ページのように、「音楽づくり」をする際に、音符やリズムを選択することで曲が作れるよう工夫されています。

項目Dの(3)について、【教芸】の、4年43ページでは、リコーダーのサミングを学ぶために、サミングでふくときのポイントとして1ページ設定し、児童が視覚的にとらえやすいよう工夫されています。【教出】の、4年26、27ページでは、リコーダーのサミングを学ぶために、アニメの曲を含め2曲を課題とし、児童に興味関心を持たせるよう工夫されています。

項目Dの(4)について、【教芸】の、6年18、19ページ「ラバーズコンチェルト」では、パートの役割を明確に設定することで、合奏する際の表現力を身に付けられるよう工夫されています。【教出】では、3年43ページのように、「学び合う音楽」のコーナーがあり、表現力を高めるためのポイントが提示されています。

項目Eの(1)について、【教芸】の、1年35ページでは、音の高低、長短、強弱を図で表して、イメージできるように工夫されています。

以上で、音楽の報告とさせていただきます。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

澤田教育長職務代理者

本市は、学校運営協議会制度を導入して、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくことに取り組んでいるところです。その中で、子どもたちが、地域の行事に参加し、地域と共に育っていくことはとても重要であると考えますが、音楽を通じて地域との関連がある内容は、どうですか。

松本教育長

選定委員、よろしく申し上げます。

木村選定委員

いずれの教科書も地域とつながるような内容は盛り込まれています。

【教芸】は、全学年裏表紙に、子どもたちが地域のお祭りに参加している様子が掲載され、4年の26ページでは、「ちいきにつたわる音楽に親しもう」という単元が設定されており、自分の地域に伝わる音楽について調べる学習が紹介されています。【教出】は、4年40、41ページで季節ごとに日本のお祭りを、5年36、37ページで日本全国の民謡を紹介しています。

澤田教育長職務代理者

【教芸】の自分の地域に伝わる音楽を調べる学習に子どもたちが取り組めば、自分たちの地域の行事やお祭りなどに、より興味を持ち、積極的に地域の行事に参加してくれることが期待できそうだと思います。

どちらの教科書も伝統文化については、扱われています。

松本教育長

他に意見はありますか。

尾上委員

わたしは、本市の子どもたちが、鍵盤楽器を演奏する際の導入部分のちがいに注目しました。【教出】1年36ページでは、ドレミを学んでから、

ドレミファソを学習するのに対して、【教芸】 1年36ページでは、ドとソを学んでから、ドレミファソを学習する内容になっています。

松本教育長

それはどちらの方法が効果的なのでしょう。尾上委員、音楽の専門的な見地からどうですか。

尾上委員

どちらも良い点があると思います。ただ、【教出】は、ドレミを使った練習曲に取り組んでいるのに対して、【教芸】は、1音のみ使う練習が設定されていて、ハードルを低く設定しています。また、【教芸】は、ドとソの鍵盤の位置を提示する際に、黒鍵を「2つのおやま」「3つのおやま」と表現し、視覚的にとらえやすい工夫がされています。

松本教育長

1年生の発達段階に配慮されていますね。
他にご意見はございませんか。

嘉名委員

感想ですが、オーケストラの楽器について、【教芸】では、3年48、49ページで金管楽器、それから4年52、53ページで木管楽器、5年22、23ページで弦楽器、そして6年16、17ページでオーケストラと段階的に紹介されていて、楽器の分類も同時に学べるので効果的かなと感じました。

藤本委員

嘉名委員がおっしゃった点で、オーケストラの紹介では、【教出】の5年31ページの透明のシートを活用してオーケストラの配置について一目でわかるようになっていますよ。

松本教育長

器楽の話がたくさん出たのですが、合唱の指導に関しては、特長的な記

載はありますか。選定委員にお聞きします。

木村選定委員

【教芸】の4年46、47ページの「もみじ」では、2つのパートの重なりについて、特徴のある部分を取り上げて解説しています。

尾上委員

これは、パートに分かれて合唱する際に、自分の歌う旋律の役割について理解しやすいですし、指導する方としてもどこを重点的に指導すればよいかは明確に示されているので、歌唱指導がしやすいと思います。

松本教育長

指導する教員にとっても、使いやすいということですね。
他にご意見はございませんか。

澤田教育長職務代理者

新学習指導要領では、音楽科についてどのような改訂のポイントがありますか。教科書ではその点についてどのような扱いがされているのか、説明してください。

松本教育長

木村選定委員、説明をよろしく申し上げます。

木村選定委員

新学習指導要領の「小学校 音楽科」では改訂のポイントとして、言語活動の充実があげられます。現行の学習指導要領では「鑑賞」のみに位置付けられていた言語活動が、「表現」でも扱われるようになっています。

たとえば、【教出】の3年43ページでは、「学び合う音楽」があり、みんなで表現を深めるような学習場面が設定されています。

【教芸】の6年32、33ページ「旋律づくり」では、つくった旋律について発表し合い、気づいたこと感じ取ったことを伝え合う場面が設定されています。

嘉名委員

この旋律づくりでは、旋律をつくるために音が選べるようになっていて、誰でも旋律がつかれるように工夫されているんですね。

尾上委員

【教芸】の教科書は、先ほどの鍵盤ハーモニカの導入の学習でもそうでしたが、全体を通して、音楽が苦手な子にもわかりやすくつくられているように感じました。たとえば、【教芸】の4年43ページでは、リコーダーのサミングについて1ページ設定し、サミングで吹く時のポイントを大きく扱っています。これは、子どもたちがわかりやすいだけでなく、指導する側にとっても教えやすい内容になっていると思います。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

それでは、音楽について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、音楽は【教芸】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

それでは、家庭科の審議を行います。選定委員から家庭科について報告してください。

木村選定委員

家庭科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東書】と【開隆堂】の2者となります。

項目Bの(1)について、【東書】では、122ページのように「あなたは家庭や地域の宝物」では、まちづくりに関わる方の活動を参考に、家族や地域の一員として自分たちのできることを考えることができる単元が設定されています。【開隆堂】では、120ページのように「共に生きる地域での生活」では、家族や地域の一員として人とのよりよい関わりについて考え、実践する単元が設定されています。

項目Bの(3)について、【東書】では、83ページのように、調理実習の工程では、写真やイラストで調理の手元や切った野菜が実寸大で確認できる等、児童が主体的に取り組めるよう配慮されています。【開隆堂】では、裏表紙に、切り方の一覧が掲載されており、調理実習時に教科書を開けることなく、いつでも切り方を確認ができるよう工夫されています。また、どちらの発行者も、裁縫用具について取り扱っておりますが、【東書】では、25ページのように、写真に添えて、用具の説明が記載されております。【開隆堂】では、21ページのように、裁縫用具を一つずつ確認できるチェックボックスが設けられており、自分自身で準備物を確認できるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【東書】では、27ページのように、玉結び、玉どめの成功例・失敗例を、写真で例示しており、視覚的に捉えやすいよう工夫されています。【開隆堂】では、23ページのように、玉結びの作業の流れでは、指で押さえて見えない糸をイラストで見えるように書くことで、児童が具体的なイメージを持ち、実習できるよう工夫されています。

項目Cの(4)について、【東書】【開隆堂】ともに、ページ数横に家庭科用語の英単語が取り扱われており、生活に係る英語が学べるよう工夫されています。また、【開隆堂】その掲載した英単語の一覧表を巻末に取り扱っており、英語学習との関連を図ることができる内容となっています。

項目Dの(1)について、【東書】【開隆堂】ともに、左右両方の利き手について作業・実習技能の写真が取り扱われておりますが、【東書】では、131ページのように、実物大程度の写真が取り扱われており、基本的な技能の確認ができるよう配慮がされています。また、どちらの発行者ともに、教科書に掲載されたQRコードを読み取ることで、デジタルコンテンツを活用することができますが、【開隆堂】では、51ページのように、

基本的な技能の他に、作業や実習の一連の流れを確認できる等、学習の理解を促すとともに主体的に学習できるよう工夫されています。

項目Dの(2)について、【開隆堂】では、76ページから79ページのように家庭科のまとめとして「レッツトライ生活の課題と実践」が設定されており、課題設定から実践までの流れを示すとともに、課題例も紹介しており、今まで学習したことを家庭や地域で実践できるよう工夫されています。

項目Dの(3)について、【東書】では、94ページのように「プロに聞く」において、プロならではの視点で職業の内容が紹介されており、児童が仕事や生活に興味・関心を持つことができるよう設定されています。

項目Dの(4)について、【開隆堂】では、37ページのように、「チャレンジコーナー」において、これまでに学んだことを、家庭や地域で活用させることができるよう設定されています。

以上で家庭科の選定報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

藤本委員

家庭科には、裁縫や調理などの作業や実習を行う授業がありますよね。生活経験の少ない子どもたちの中には、作業や実習を苦手とする子どももいると思います。私は、その点について、気になって調べてみたのですが、どちらの教科書も、この点ではよく配慮されていると思います。例えば、どちらも、作業、実習の流れを横の流れで示していて、写真やイラストを交え、とてもわかりやすいように思います。

それに、報告にもありましたが、【東書】の83ページのように、切った野菜が実寸大で確認できるよう工夫されているところが子どもたちにとってわかりやすいと思いました。

松本教育長

たしかに、そのように確認できると、作業や実習に取り組みやすいですね。私は、切った野菜の大きさの確認とともに、切り方の確認も大切だと思いますが、いかがでしょうか。

尾上委員

私は【開隆堂】の裏表紙に、切り方の一覧が掲載されていて、実習中にいつでも確認できるように工夫されていると思いました。切り方には種類がたくさんあって、どうやって切ったらいいかわからないときに、役に立ちそうと思います。実習中に教科書を開くことは難しいので、裏表紙に掲載されているところにも配慮が感じられます。

澤田教育長職務代理者

私も【開隆堂】のことですが、よく見てみると、作業・実習の流れの示し方ですが、提示している背景に色を付けて、本文とは違うということで見やすく配慮がされているように思います。

嘉名委員

作業や実習の流れの示し方の配慮は大事ですが、個別の配慮も必要だと思います。報告にもありましたが、【東書】にも【開隆堂】にも、左利きの児童が作業や実習に取り組みやすいように、写真を取り扱って、しっかりイメージできるよう配慮されていますね。

松本教育長

その内容については、答申D(1)に記載しておりますので、それぞれご覧ください。【東書】は131ページです。【開隆堂】は132ページです。ここには左利き、右利きの作業の仕方が掲載されています。

澤田教育長職務代理者

たしかに、写真で包丁の扱い方や縫い方を確認できるのは、子どもらにとって確かにイメージしやすいです。しかし、写真で動きのイメージまでは確認しづらいので、作業や実習の動きを確認ができるとよりいいと思い

ます。確か、【東書】【開隆堂】ともにデジタルコンテンツを活用できるようになっていましたね。それには、動画なんかはあるのですか。

木村選定委員

その件については私からお答えします。デジタルコンテンツで【東書】【開隆堂】ともに、基本的な作業の動きは確認できるようになっておりました。【開隆堂】につきましては、基本的な作業の動きの確認の他に、実習の中の作業についても確認ができるようになっております。例えば、51ページを見てください。ページの右上のQRコードから、デジタルコンテンツを活用できるサイトにアクセスでき、お米の測り方、洗い方、炊き方などの作業の確認も動画でできるようになっております。

澤田教育長職務代理者

動作を確認できると、作業や実習が苦手な子どもらも前向きに取り組むことができると思います。

藤本委員

それに、作業や実習の配慮もそうですが、【東書】も【開隆堂】も、学習の進め方や、生活の見方・考え方、それに、振り返りなど、ていねいに扱っていて、子どもたちは、しっかり学んでいけそうです。

松本教育長

そのように学習したことを、児童が家庭や地域の人たちとの関わりや自分の日常生活と学習を結び付けて、学んでいければ、よりいいですね。

嘉名委員

今、教育長がおっしゃった部分で、家庭や地域の中で、活かすことができるような教材があれば、より効果的に学習が進められそうですね。

藤本委員

【東書】も【開隆堂】も地域の人々に関わった教材を扱っていますね。

地域の人たちの関わりにどんなものがあるか、自分に何ができるかを考え、工夫し、実践しようという流れはどちらの教科書も大切にしているように思います。

尾上委員

【開隆堂】の122ページを見てください。やってみよう「地域の関わりプロジェクト」は、これまで学習してきたことを振り返って主体的に取り組めるように流れが示してあります。意欲的に実践しやすくなっているように思います。

嘉名委員

それに、意欲的に実践するためには、何をどのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのかが大事ですよね。その点で言えば、その流れを提示している下の段に「関わり方で変わる地域への参加の仕方」や「地域との関わりを見つける視点」は、子どもたちが参考にしやすい内容になっているように思います。

澤田教育長職務代理者

本市では、教育の重点目標に「家庭・地域との協働による学校づくりの推進」を掲げています。家庭や地域を大切にした内容の教材は、本市には欠かせないものだと思います。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

ないようですので、家庭科について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

(全委員は投票用紙を記入し、投票箱へ投票。)

(事務局は投票結果を開票し、松本教育長に提示。)

松本教育長

投票の結果、家庭科は【開隆堂】が多数となりました。ご異論ございませんか。

(委員より異議なし)

松本教育長

以上をもちまして、全科目の採択を終了いたしました。

閉 会

松本教育長

以上で7月臨時教育委員会を閉会します。